第34回国民体育大会

秋季大会

バドミントン



主催　(財)日本体育協会
文部省
宮崎県
西都市

昭和54年10月15日～18日

西都市民体育館

（日体協マーク）

アマチュア・スポーツのあり方

スポーツは、人々が、楽しみと、よりよく生きるために、他から求められることなく、自らの能力に応じて行なう自由な身体活動である。明るい光と、すがすがしい環境の中で行なわれるスポーツは、そのまま豊かな国民生活の形成に役立つものとなろう。

このようにして育まれるスポーツが、あまねく国民の間に行きわたることによって、健康な国民がつくられ、正しいスポーツマンシップが生まれることを願いここにアマチュア・スポーツを楽しむ人々のあり方を定めた。

アマチュア・スポーツマンは、

1．スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行なう。
2．ルールに従い、フェアプレーに終始する。
3．常に相手を尊重しつつ、自己の最善をつくす。
4．スポーツを行なうことによって物質的利益を求めない。
5．スポーツによって得た名声を利用しない。

（日本体育協会 昭和45年制定）



表紙説明

無形文化財臼太鼓踊…南国的な明るい色彩の衣装と「のぼり」を背負って乱舞する。旧暦8月1日、氏神に五穀豊穣と無事息災を祈念するものです。

西都市民体育館概要

- 竣　　工　昭和52年12月20日
- 総　工　費　4億2千万円
- 敷地面積　6,105㎡
- 競技場の設備　バドミントン8面●テ　ニ　ス3面　バレーボール3面●ハンドボール1面　卓　球　台10台●体　　操7種目

第34回国民体育大会

☆テ　ー　マ☆

日本のふるさと宮崎国体

青い空、黒潮の海、あふれる緑、この美しくきよらかな雄大な自然の中にはぐくまれてきた豊かな人情。

遠い祖先から語りつがれてきたさまざまな神話や伝説は、この大地に、日本の国づくりの壮大なドラマが展開されたことを物語る。

この日本のふるさと宮崎に、いま、力強く繰りひろげられるスポーツの祭典“宮崎国体”

この国体に託して、ひとりひとりの心のふれあいをひろげながら、さらに明日への限りない発展をめざして、夢と希望にあふれる郷土を築きあげる。

☆スローガン☆

伸びる心　伸びる力　伸びる郷土

☆シンボルマーク☆



ＭＩＹＡＺＡＫＩ（みやざき）の「Ｍ」をデザインしたもので、県民一体となって国体を盛り上げる意欲と「伸びる心」「伸びる力」「伸びる郷土」のスローガンを表現し、躍進する宮崎県の姿を象 徴したものです。

目　次

第34回国民体育大会テーマ
　スローガン・シンボルマーク…… 1
大会歌「若い力」…… 3
あいさつ…… 4
歓迎のことば…… 5
国民体育大会天皇杯皇后杯授与規程…… 6
国民体育大会会長トロフィー授与規程…… 7
バドミントン競技成績採点方法…… 7
競技会役員…… 8
競技役員…… 10
競技会係員・競技会補助員・協力団体 …… 12
式典次第…… 17
諸会議日程…… 17
競技日程…… 18
組合せ表…… 20
バドミントンの手引・競技の見方…… 22
過去の栄冠…… 24
男女総合（天皇杯得点）成績採点表…… 35
女子総合（皇后杯得点）成績採点表…… 37
都道府県別参加一覧表…… 39
参加チーム一覧表…… 40
競技会会場配置図 …… 45
競技会会場周辺配置図…… 47
宿舎競技会場、練習会場案内図…… 49
練習会場使用日程表…… 59
第34回国民体育大会夏・秋季大会競技会場配置図…… 61
都道府県別監督・選手宿舎一覧表…… 62
大会本部宿舎一覧表…… 66
列車時刻表…… 68
循環バス時刻表…… 72
国体関係電話番号一覧表…… 73
西都市実行委員会事務局機構図…… 75
西都市実行委員会実施本部組織図…… 77

大会歌

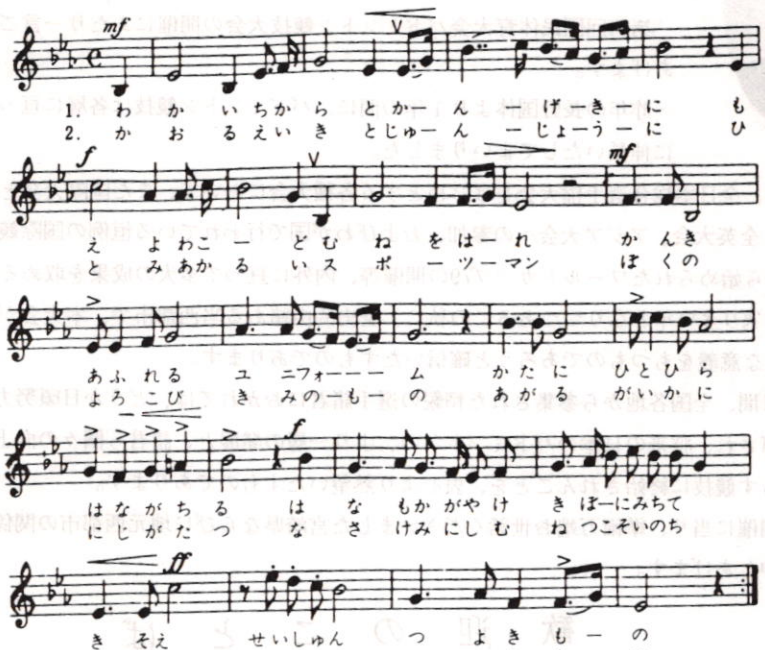
若い力

日本体育協会選定

佐伯孝夫 作詞

高田信一 作曲

明るく力強く♩＝120



この「若い力」は、昭和22年に作詞・作曲され、第２回国民体育大会から大会歌として制定され用いられています。

一、
若い力と 感激に
燃えよ若人 胸を張れ
歓喜あふれる ユニフォーム
肩にひとひら 花が散る
花も輝け 希望にみちて
競え青春 強き者

一、
薫る英気と 純情に
瞳あかるい スポーツマン
僕のよろこび 君のもの
挙る凱歌に 虹が立つ
友情身にしむ 熱こそいのち
競え青春 強き者

あ　い　さ　つ



日本バドミントン協会
会長　**本田弘敏**

第34回国民体育大会バドミントン競技大会の開催にあたり一言ごあいさつ申しあげます。

昨年の長野国体より１年の間に、バドミントン競技は各層に亘って幅広く着実に伸長いたしてまいりました。

国内に在っては、全日本総合選手権大会をはじめとする各種大会において、また国際大会としては、第11回トマス杯大会、全英大会、アジア大会への参加、およびわが国で行われている恒例の国際競技大会が発展改組され、本年から始められたワールドカップ79の開催等、内外に亘って多大の成果を収めることが出来ました。このように実り多い年となりつつあるこの秋に、歴史的由緒ある当西都市で、本大会が開かれますことは、極めて大きな意義をもつものであろうと確信いたすものであります。

本日からの４日間、全国各地から参集された精鋭の選手諸君におかれては、どうか日頃努力精進された技量を遺憾なく発揮され、将来の日本のバドミントンの、より一層の発展と、諸君ら個々の向上につながる大きな成果をもたらす競技に終始されんことを、衷心より熱望いたすものであります。

終りに本大会開催に当り、準備万端お世話くださいました宮崎県ならびに地元西都市の関係各位に対し、心から厚くお礼申しあげます。

歓　迎　の　こ　と　ば



第34回国民体育大会宮崎県実行委員会会長
宮崎県知事　**松形祐堯**

太陽と緑あふれる宮崎の地に、天皇陛下の御臨場を仰ぎ、全国から選ばれた多数の役員、選手をお迎えして、第34回国民体育大会秋季大会を盛大に開催できますことは、113万県民にとりましてこのうえもない光栄であり、心から歓迎を申し上げます。

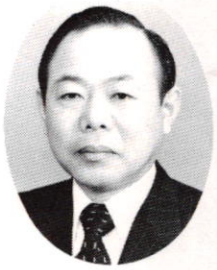
私たちは、力と技と美のスポーツの祭典第34回国民体育大会を開催するにあたり、スポーツの振興と文化の創造をめざし、友情のふれあいを深めるとともに豊かな自然に恵まれた郷土の限りない発展をめざして、大会のテーマを「日本のふるさと宮崎国体」とし、「伸びる心　伸びる力　伸びる郷土」をスローガンにかかげて、豊かな心、高い知性、たくましい体をもち、創意と工夫に富む県民性を培いながら、質素な中にも原点に根ざした実りある大会となるよう、県民総参加のもとにその実現に努めてまいりました。

国民体育大会の旗のもとに、今ここに集う選手の皆さん、日頃培われました力と技を遺憾なく発揮され、立派な成果をあげられるよう念願してやみません。

また、この機会に宮崎の古い歴史と秋の深まった日向路の美しい自然、素朴な人情にも接していただき、宮崎国体を皆様方のよい思い出にしていただきますよう願っております。

おわりに、本大会の開催にあたり、関係各位から寄せられました多大の御支援御協力に対し、深く感謝申し上げまして歓迎のことばといたします。

歓　迎　の　こ　と　ば



第34回国民体育大会西都市実行委員会会長

西　都　市　長　　**中　武　重　美**

さわやかな秋空のもと、全国各都道府県から選ばれて第34回国民体育大会に参加されました選手・役員の皆さんにお祝いを申しあげます。第34回国民体育大会秋季大会バドミントン・高等学校野球（軟式）競技会の開催は、本市にとりましてこのうえもないよろこびであり、３万８千市民とともに心から歓迎申しあげます。

この晴れの大会に参加されました選手の皆さんは、郷土の栄誉とスポーツの栄光のため、日ごろ鍛えられました力と技とスポーツ精神を遺憾なく発揮されて、輝かしい成果を収められ、「日本のふるさと宮崎国体」が人生の良き思い出となりますとともに、将来にわたりスポーツの振興のため活躍されますことを心から念願いたすしだいであります。

西都市は、市街地からすぐ手のとどくところにある特別史跡西都原風土記の丘にみられるように、古代、この地方は政治と文化の中心地として繁栄した所であります。市内の随所にその遺跡、伝承地をみることができますが、特に太陽と緑の大自然の中に三百数十基点在する西都原古墳群に、日本のふるさとの姿をみいだし味わっていただきたいと思います。どうかこの機会にご散策願えれば幸いに存じます。

本大会の開催にあたり、私どもは誠意を尽して準備に万全を期してまいりましたが、不行届きの点は何分ご容赦くださいますようお願い申しあげます。

おわりに、関係各位から賜わりましたご指導と絶大なるご支援ご協力に対し、深く感謝を申しあげ歓迎のことばといたします。

歓　迎　の　こ　と　ば



宮崎県バドミントン協会

会　長　　**相　澤　尚　夫**

高く澄みきった秋空の日向路に、全国各地より第34回国民体育大会バドミントン競技に参加する精鋭３８０余名をお迎えするに当たり、宮崎県のバドミントンに関係するわたくしたちは、心より歓迎申し上げます。すでに３年前からこの大会で皆様に少しでも満足していただこうと懸命の努力を尽くしてまいりました。遠くよりお越しいただいた皆様に、行き届かないことが多いかと思いますがおゆるしください。

本大会をわたくしたちは、「日本のふるさと宮崎国体 」と名付けております。なかでも当西都市は、遠く神代の伝説に富んだ地で、男狭穂(オサホ)塚、女狭穂(メサホ)塚を始め、大小３００余基の古墳が点在します。この歴史の古い土地で、新しいスポーツの一つであるバドミントン競技が行われるのも意義有る事と思います。

選手の皆様、どうぞ郷土の名誉の為、日頃鍛えた力と技を、充分に発揮し立派な試合を展開されますようお祈りいたします。

終りに臨み、西都市当局をはじめ、関係者各位から寄せられましたご支援、ご協力に対し深く感謝申し上げまして歓迎のことばといたします。



《天皇杯》　　《皇后杯》

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２．第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は秋季大会閉会式に授与し、次回冬季大会最初の競技会開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

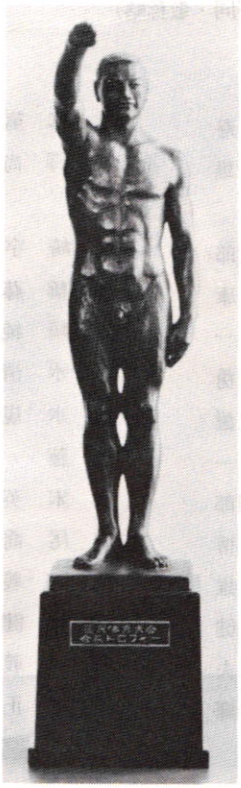
附　則　本規程は昭和４１年４月１日制定

昭和４５年１月２２日一部改訂

昭和４８年７月１０日一部改訂

昭和５４年５月　９日一部改訂

国民体育大会会長トロフィー授与規程



第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、各正式競技男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２．第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回大会開始式において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 責任をもって保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4) 財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は昭和41年４月１日制定
昭和48年７月10日一部改訂
昭和54年５月９日一部改訂

バドミントン競技成績採点方法

(1) 競技得点算出方法

天皇杯種別	皇后杯種別	競技得点算出方法
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別(部)の1位に12点、2位9点、3位8点、4位7点、5位～8位各4.5点を与えその得点合計(成年男子については、一般、教員の部の得点合計によって1位に12点、2位9点、3位8点、以下8位3点とする)で競技得点算出順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(2) 男女総合（天皇杯）、女子総合（皇后杯）成績決定方法
男女総合、女子総合成績は、それぞれ下記ア、イ、ウの得点を合計したものとする。

ア　競技得点
(1)の得点合計の第１位の都道府県に１２点、２位９点、３位８点、４位７点、５位６点、６位５点、７位４点、８位３点の競技得点を与える。ただし、同点の場合は当該都道府県でその順位を共有し、次の順位を欠位とする。得点は、次順位の得点を加え、当該都道府県で等分する。

イ　種別優勝得点
各種別の第１位の都道府県に種別優勝得点1.5点を与える。ただし、第１位が２都道府県以上の場合は1.5点を当該都道府県数で割った得点とする。

ウ　参加得点
大会（地区予選会も含む。）に参加した都道府県に参加得点１点を与える。

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長　中武重美
会長　本田弘敏
副会長　広田兼敏　森友徳兵衛　松下正寿　秋草篤二
柴田勝治　磨井洋一　小口政雄　相澤尚夫
兼松好一

顧問　石渡俊一　白山源三郎　松葉徳三郎　地崎宇三郎
清藤六郎　山本祐二郎　森康　松橋藤吉
鈴木伝四郎　原正　阿久津順一　岩崎純三
日野貞夫　市川十郎　須田勝勇　穴水清彦
吉川芳男　中村伝　原二三雄　清水規矩雄
宮下明　織田喜一　矢部喜一　後藤淳
安西武二　神谷一三　栗本藤四郎　永末英一
今井鎮雄　藤田庸右　坂口常博　中尾喬一
中川四郎　石田祥史　天野辰雄　林義郎
池上任　俊成薫　内藤健　結城健輔
四島司　梶原景光　横尾秀夫　藤田義光
脇屋長可　米丸芳男　稲福盛輝　黒木正美
横山昇

参与　伊沢三郎　今井先　角田賢三　川端昇市
小宮淳宏　宮沢宏之　狩野保夫　後藤善美
緒方忠一郎　浜砂百敏　中武正　江藤義成
村岡次男　橋口貞雄　矢野敏男　小野登
横山正憲　日野光幸　楠本良次　杉尾二美
井上満　鹿島十郎　曽我部通義　稲尾慶典
壱岐忠雄　河野豊次　黒木明　河野通雄
岩倉茂人　河野孝臣　山辺利人　清水義光
児玉枚男　矢野義憲　富田次雄　土持久夫
横山人見　阿万佶　寺原幸雄　橋口恒敏
小畑正男　児玉公作　吉永直　小宮政治
緒方巌　田中清澄　松坂勇　日高宗義
三雲汎　堤厚　児玉安雄　黒木百合子
関谷松美　児玉ミネ　足利房美　松根喜一郎
足利晃市郎　中武国義　大町信平　長嶺三千夫
雨無堯弘　浜田行知　有沢猛則　後口多輝
高田恵次郎　白木春美

康喜男博勝男

裕秀澄国

川野方塚

長谷河緒西安柿

博雄丸男義禎

芳哲貞千鶴隆兼

鵜戸中松野浜上

二夫徳郎秋弘二次士一徳彰茂孝美一平三重一

昭基光万次光

木北見木里上引須原浦木田山田野浦田地野

青今里並五十川布三上松佐広上志上松岩東新吉

尾小伊北中穐岡中保和山大甲茅松松西児長

崎飼藤山山本島坂田内重斐島田下玉友

男一一一明雄利禧一寿紀美志典子丸博作男三助登

公栄鉱義広正武寿俊

口

尚基隆稔清小安牧雅幸良久

一定千鶴武一

公郁正雄

衛生美之典史実

徳宗昌裕久忠

村川野市崎山田

北押上高川横福

夫記房暁男一郎雄夫人雄蔵美学夫博男則男功男広文

相伊板神遠相内内花渡村井河橋奥図野橋和橋秋佐

澤藤垣沢井場多藤岡辺山田野口師田元田口高藤

市司博一典一壮雄敏武道久雄武晃雄明怜夫敏一敏生文雄典男男巌之種

金誠定庄邦英

政恒

昌忠安

義嘉

三

幸英和良幸久幸道

津尾師浦永水高口口岡田上田豆根村根藤斐毛永下之上原崎浦口部田

川寺図松豊清日小橋浅池井杉福伊関野山加甲蓑徳竹井寺川松坂本原

与

参

長

員

長

員

委

員

副

委

員

委

員

競　技　役　員

競技委員長	伊藤鉱一				
競技副委員長	尾崎公男	上山　茂			
総務委員長	浅岡　武				
総務副委員長	佐々木美徳	井田良蔵			
総務委員	竹之下和生	茅島隆典	大重裕美	土工冨志夫	
	泊　宗利	蓑毛幸一			
補助員	町田俊江	木場あけみ			
総合成績計算委員長	村山幸雄				
総合成績計算委員	中武　茂	尾崎敏行			
審判長	青木昭二				
副審判長	伊藤基記	小倉文雄			
審判員	家城統夫	池田昌道	井上忠久	小飼栄一	
	里見光徳	中山広明	片山次男	細川孝雄	
	野口良治	中島泰二	田中大也	春武俊一	
	宮本生也	鷲山昌三	稲盛孝次	前園俊哉	
	仲村寛市	松本博光	日高富士夫	日高徹弥	
	斉藤正美	荒川元四郎	野中孝志	南　佐登志	
	和田三千夫	森山勝郎	轟木保紘	中村信夫	
	谷口重利	松山講一	黒木幸英	福井　実	
	甲斐　敏	児玉真一	坂場誠一	岩崎博臣	
線審主任	津曲忠司				
線審員	児島伸一	小野正儀	本村順吉	黒木富美雄	
	大田原富子	近藤久夫	斉藤良美	田中秀徳	
	外山博志	徳留道夫	杉尾美子	松本秀敏	
	清野知洋	甲斐克則	鬼塚　薫	奥野拓美	
	緒方一男	松浦　亨	江藤義郎	湯野宮正博	
	斉藤美利	菊地みき子	後藤公子	荒川良子	
	中窪奈保子	黒木秀樹	姫野正夫	中山甚助	
	石川勝満	村田京一	前田利彦	熊給文男	
	鈴木和敏	鈴木政信	坂下　誠	奥　一夫	
	内山直樹	上山洋一	新村英憲	小浜秀美	
	児玉　勝	加藤太介	竹中裕子	加藤文代	
	神田佳代子	妙清睦子	川越宗次	松岡美千代	
補助員	中武和広	村上俊郎	大木一枝	田村徳親	
	長池初穂	安井　浩	鹿島光司	甲斐久士	
	新名善洋	吉野憲二	福田正人	岩切　弘	

進行主任	図師和史				
進行委員	松山哲男	茨木裕一	松川康彦		
補助員	永井誠	安富由彦			
記録主任	溝口月夫				
記録委員	高石洋子	中島善彦	斉田清秀	黒木治定	
補助員	後藤耕一	笠島卓	佐藤貴代美	猪八重仁	
	泉千春	津田律子			
シャトル主任	岩坂広文				
シャトル委員	佐久間美枝子	児玉宗聖			
補助員	松葉敏子	冨永倫代			
点示主任	末広文夫				
点示委員	庵下きよ子	阿万浩			
補助員	谷口由美子	丹生由美子	阿部容子	清水律子	
	香川恵美子	長友理恵子	緒方妙子	永田知子	
	荒木美保子	川端紀子	長田富士代	矢野千枝子	
	岡田寿奈子	大坪真理子	松浦由架里	落合美恵子	
	黒木知恵子	平原豊子	矢野洋子	田中浩美	
	丸山育世	小牧久美	成合和子	後藤早苗	
	森川小百合	小佐治鈴枝	河崎昭代	矢野時子	
	片渕広子	河越芳子	森ひとみ	島地貴子	
	近藤祐子	本坊貴代美	星原優子	橋口朋子	
掲示主任	堀良一				
掲示委員	今井愛子	宮崎八千代			
補助員	海老原保記	図師真二			
報道主任	平川文雄				
報道委員	内田俊久	飯田桂子			
放送主任	小浦紀男				
放送委員	洞ひとみ	金丸真弓	緒方妙子		
補助員	木田美千代	永易由美			
召集主任	甲斐隆志				
召集委員	楠瀬寿彦	大西良和			
補助員	金丸英樹	児玉光一	木下雅志	中村勝義	
	横山浩	杉田圭司			

競　技　会　係　員

統括本部

本部長	兼松好一			
副本部長	阿万佶	横山人見		
会場長	緒方澄男			
本部員	橋口恒敏	寺原幸雄	河野久美	池沢健二
	本井睦英	沼口数敏	横山忠史	江藤美保
	原田高己	金丸赫子	児玉トキ子	三島加代
	芝宏繁	辻一生	中村文明	兼松幸弘
	川口正治	増田恵二	西田博志	弓削敏彦
	和田守	松浦正治	森実紀子	
特別接伴班	班長	小野昭		
	副班長	黒川忠男	矢野正	
	接伴係	小森一三	甲斐祐子	横飛栄
		中武邦子	井上やすみ	斉藤敦弘
特別渉外班	班長	黒川敬		
	副班長	国府俊郎	桐山林	
	渉外係	猪股康治	杉田正孝	那須隆美
		図師健光	中村忠雄	弓削久
		米良嘉文		

総務広報・市民運動部

部長	図師定博			
副部長	松下貞丸	上野昌美		
総務班	班長	浜砂隆義		
	副班長	吹井孝男	伊藤政実	
	総務係	吹井孝男	横飛栄	
	役員・係員集約係	矢野正	黒木盟夫	
	来賓係	伊藤政実	井上やすみ	
	器具管理係	浜砂正治	藤田勝重	
財政班	班長	船橋与一		
	副班長	元水明畝	黒木八郎	
	財政計画係	船橋与一		
	営業施設係	黒木八郎		
	物品調達係	元水明畝		
会計班	班長	鬼塚綱雄		
	副班長	中武竜栄	木下憲隆	
	会計係	黒川春海	杉尾弘子	

広報班	班長	浜砂一郎			
	副班長	押川和敏	原田郁夫		
	広報宣伝係	矢野元子	松原貞雄		
	報道機関係	原田郁夫	松下和光		
	取材係	松下和光	成合三明	押川和敏	
		原田郁夫			
市民運動班	班長	清水英一			
	副班長	三輪公洋	深美正次		
	市内美化係	深美正次	原田真一		
	会場美化係	原田真一	深美正次	河野清三郎	
		杉尾実澄	丹生孝一	吉田みどり	
	協力団体要請係	三輪公洋	原田真一		

施設・競技・式典部

部長	寺原幸雄				
副部長	野田千鶴男	西博			
施設班	班長	新頭徳明			
	副班長	岩村昭太郎	前田稔		
	設営装飾係	岩村昭太郎	前田稔	長友義忠	
		橋口喜秀	黒木良直	日高和憲	
		小原功	滝井清次郎	成合三明	
		井上忠一	浜砂博巳	元水祥光	
		原田武	横山真澄		
競技班	班長	河野久美			
	副班長	徳永碩男	池沢健二		
	競技係	池沢健二	本井睦英		
	練習会場係	黒井豊	日高英季	牧野田正康	
		関義明	吉野喜男	島藤重利	
		三輪剛士	太田寛文		
式典班	班長	寺原幸雄			
	副班長	緒方吉信	小浦紀男		
	式典係	池沢健二	本井睦英	横山忠史	
		小浦紀男	洞ひとみ	清恵美子	
		松下恵子			
記録班	班長	山口隆章			
	副班長	中武茂	黒木虎男		
	総合成績計算委員	中武茂			
	記録収集速報係	塩谷交秋	伊達博敏		
	記録印刷係	黒木虎男	藤田勝重	高橋秀夫	

用具班	班長	高市裕之				
	副班長	原田勝	浜砂正治			
	用具係	藤田勝重	浜砂正治			
宿泊・輸送・救護・衛生・接伴案内・観光・警備部						
部長	松浦庄一					
副部長	橋元武則	川崎久典				
宿泊班	班長	岡田留				
	副班長	中武重安	清郁男			
	配宿計画係	中武重安	清郁男	田中隆		
		中武伴典				
	献立サービス	池沢健二	江藤美保			
	指導計画係					
	宿泊係	米良嘉文	近藤一	溝口哲也		
		篠原武人	田中寛	原田一二		
		米良政次	奥野博敏	池田洋		
		田爪昇	原勝行	小畑種敏		
		橋口喜秀	国府直行	鹿島丈夫		
		富田富敏	図師健光	阿万定治		
		原田治雄	藤代勝之	中村忠雄		
		浜砂博巳	那須隆美	惣土邦利		
		神田守	緒方為幸	本部輝男		
		中武敞常	谷口尚功	横山真澄		
		林幹城	黒木広也	迫政光		
		米良泰利	日高和憲	原田武		
		関屋博	黒木博	小原功		
		田中邦俊	長友敏明	橋口智俊		
		弓削久	黒木良直	関谷勝		
連絡所主任	穂北支所	橋口十四春				
	右松公民館	原田武				
	法元公民館	田村浩肇				
	赤池公民館	清田教雄				
	宝足公民館	井上秀夫				
	四日市公民館	黒川敬				
	清水公民館	米良和男				
	弁当調達引換係	黒木祥展	野村透			
	寝具調達係	中武重安	清郁男			
輸送班	班長	長友唯男				
	副班長	斉藤嘉明	小野原剛			
	輸送計画係	斉藤嘉明	小野原剛			
		高山忠雄	久島英晴			

	輸送係	斉藤嘉明	小野原剛	久島英晴
		黒木章男	橋口雄助	中武庄敏
		坂田春男	松原貞雄	杉田実
		黒木浩	松浦幹雄	安藤孝男
		吉野的		
	輸送案内標識係	小野原剛	久島英晴	
救護班	班長	斉藤暢寛		
	副班長	河越正寿	十川利幸	
	救護係	十川利幸	宮越恵子	佐山真喜
	救護車係	長友章		
	医療費係	河越正寿		
衛生班	班長	堤重次		
	副班長	浜砂義忠	児玉慶之祐	
	予防衛生指導係	浜砂義忠		
	ゴミ・し尿処理係	大西秀邦	児玉慶之祐	浜砂武光
接伴案内班	班長	図師重明		
	副班長	坂口道男	籾木一成	
	接待用具係	坂口道男	佐藤ミキヨ	鬼塚久寿子
	接伴係(駅前)	籾木一成	菅原正行	黒木修子
		池野正信	長友千代	田中美喜
		山中豊子		
	〃(体育館)	緒方満	鹿島俊郎	長友英光
		松浦マチ子	鬼塚久寿子	高橋美智子
		日高幸子		
	受付案内係(駅前・会場)	中武寛	浜砂松生	本部公一
		高野溢美	緒方尚子	日野徳子
		河野美保		
	プログラム販売係	八木信次	清恵美子	松下恵子
観光班	班長	黒木修		
	副班長	黒木邦盛	中武寛	
	観光案内・土産特産物紹介係	黒木邦盛	中武寛	小浦羊子
		山中喬		
警備班	班長	中武保夫		
	副班長	愛甲昌安	関屋隆	
	警備係	関屋隆		
	救急係	原田種英	各当務隊長	
交通班	班長	兼松重継		
	副班長	村岡正潔	岩本幸雄	
	交通係	村岡正潔	井下敬三	

駐車場係　村岡正潔　池田昌業　中武資貴

競技会補助員

プラカード　妻高等学校（６０名）
ブラスバンド　妻中学校（４７名）
鼓笛隊　妻南小学校（１２７名）

協力団体

西都警察署・妻高等学校・西都商業高等学校・市内小中学校・西都地区交通安全協会・西都市消防団・西都市婦人連絡協議会・西都農協婦人部・西都市青年団協議会・西都市ＳＡＰ会議・西都市体育協会・西都青年会議所・はまゆうバドミントンクラブ・ボーイスカウト・体育指導委員会・西都市スポーツ少年団・西都商工会議所・西都農業協同組合

式　典　次　第

開　始　式　　10月15日(月)

西都市民体育館

順序	次　第	時　刻	要　領	備　考
	役員・選手団集合開始			
	開　式　予　告	8：10	放　送	
1	開　式　通　告	8：20	放　送	ファンファーレ・吹奏
2	選　手　団　入　場	8：21	競技会会長登壇	行　進　曲　・　演　奏
3	競技会開始宣言	8：36	競技会委員長	
4	「君が代」斉唱	8：37	全　員　注　目	君が代・演奏
5	トロフィー返還	8：38	競　技　会　会　長	得賞歌・演奏
6	競技会会長あいさつ	8：39	競　技　会　会　長	
7	歓　迎　の　こ　と　ば	8：42	西都市長・宮崎県バドミントン協会長	
8	表　彰	8：48	競　技　会　会　長	
9	閉　式　通　告	8：58	放　送	ファンファーレ・吹奏
10	選　手　団　退　場	8：59	放　送	行　進　曲　・　演　奏

公開演技　鼓笛隊妻南小学校１２７名　　競技開始　9：30

表　彰　式　　10月18日(木)

順序	次　第	時　刻	要　領	備　考
	役員・選手団整列			
	開　式　予　告		放　送	
1	開　式　通　告	14：00	放　送	ファンファーレ・吹奏
2	選　手　団　入　場	14：01	競技会会長登壇	行　進　曲　・　演　奏
3	成　績　発　表	14：10	競　技　委　員　長	
4	表　彰	14：12	競　技　会　会　長	得賞歌・演奏
5	競技会会長あいさつ	14：30	競　技　会　会　長	
6	歓　送　の　こ　と　ば	14：33	西　都　市　長	
7	「君が代」斉唱	14：37	全　員　注　目	君が代・演奏
8	競技会終了宣言	14：38	競技会委員長	
9	閉　式　通　告	14：39	放　送	ファンファーレ・吹奏
10	選　手　団　退　場	14：40	放　送	行　進　曲　・　演　奏

バドミントン諸会議日程表

会　議　名	月　日	時　間	会　場	所　在　地	電　話
審　判　会　議	10月14日	15：00	西都市中央公民館	西都市大字妻2534～1	09834　内線 3－1111　612
監　督　会　議	10月14日	17：00	〃	〃	〃
全国理事長会議	10月14日	19：00	西都原御陵墓前広場 （雨天時・あいそめ館）	西都原	09834 3－0017

バドミントン競技日程

試合順序および開始時刻（タイムテーブル）

月日	開始時刻＼コート	1	2	3	4	5	6
第一日目 10月15日(月)	8：20	開		始		式	
	9：30	T 1	T 2	T 3	T 4	T 5	T 6
	11：00	T 7	T 8	T 9	T 10	T 11	T 12
	12：30	T 13	T 14	T 15	M 1	M 2	M 4
	14：00	M 5	M 6	M 7	M 8	M 9	B 1
	15：30	B 2	G 1	G 2	L 1	L 2	T 16
	17：00	T 17	T 18	T 19	T 20	M 3	M 10
第二日目 10月16日(火)	9：00	T 21	T 22	T 23	T 24	T 25	T 26
	10：30	T 27	T 28	T 29	T 30	T 31	B 3
	12：00	B 4	B 5	B 6	G 3	G 4	G 5
	13：30	G 6	L 3	L 4	L 5	L 6	M 11
	15：00	M 12	M 13	M 14	T 32	T 33	T 34
	16：30	T 35	T 36	T 37	T 38	T 39	
第三日目 10月17日(水)	9：30	B 7	B 8	T 40	T 41	T 42	T 43
	11：30	L 7	L 8	G 7	G 8	M 15	M 16
	13：30		T 44			T 45	
第四日目 10月18日(木)	9：30	M 17	L 9	T 46	B 9	G 9	
	11：30	M 18	L 10	T 47	B 10	G 10	
	14：00	表		彰		式	

□ は決勝戦　　═══ は３位決定戦

M：成年男子（一般）　T：成年男子（教員）　L：成年女子　B：少年男子　G：少年女子

競技前の注意

1　オーダー用紙は試合開始30分前にオーダー交換所に提出してください。

2　選手は試合開始20分前に所定の選手集合場所に集合し、当試合の主審の指示に従ってください。

3　ベンチへ入場行進の後、当試合の組合わせによる若番のチームから最初に５分間ずつの練習時間が与えられます。

バドミントン競技日程

開　始　式　10月15日（月）　8時20分　西都市民体育館

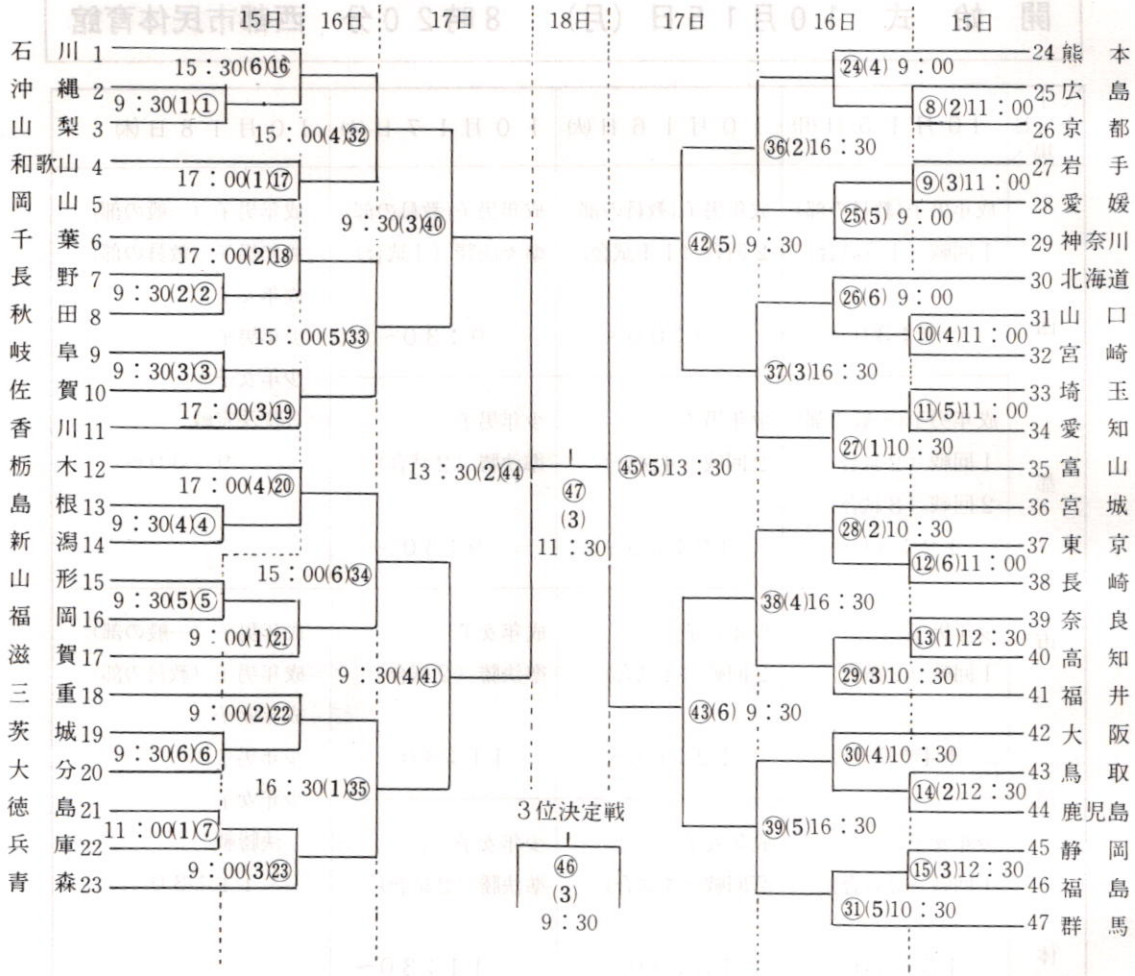
会場＼月日	10月15日(月)	10月16日(火)	10月17日(水)	10月18日(木)
西都市民体育館	成年男子(教員の部) 1回戦（15試合） 9：30～	成年男子(教員の部) 2回戦（11試合） 9：00～	成年男子(教員の部) 準々決勝（4試合） 9：30～	成年男子（一般の部） 成年男子（教員の部） 成年女子 少年男子 少年女子 3位決定戦 9：30～
	成年男子(一般の部) 1回戦（2試合） 2回戦（8試合） 12：30～	少年男子 2回戦（4試合） 10：30～	少年男子 準決勝（2試合） 9：30～	
	少年男子 1回戦（2試合） 14：00～	少年女子 2回戦（4試合） 12：00～	成年女子 準決勝（2試合） 11：30～	成年男子（一般の部） 成年男子（教員の部） 成年女子 少年男子 少年女子 決勝戦 11：30～
	少年女子 1回戦（2試合） 15：30～	成年女子 2回戦（4試合） 13：30～	少年女子 準決勝（2試合） 11：30～	
	成年女子 1回戦（2試合） 15：30～	成年男子(一般の部) 3回戦（4試合） 13：30～	成年男子(一般の部) 準決勝（2試合） 11：30～	
	成年男子(教員の部) 2回戦（5試合） 15：30～	成年男子(教員の部) 3回戦（8試合） 15：00～	成年男子(教員の部) 準決勝（2試合） 13：30～	

表　彰　式　10月18日（木）　14時00分　西都市民体育館

バドミントン競技組合せ表

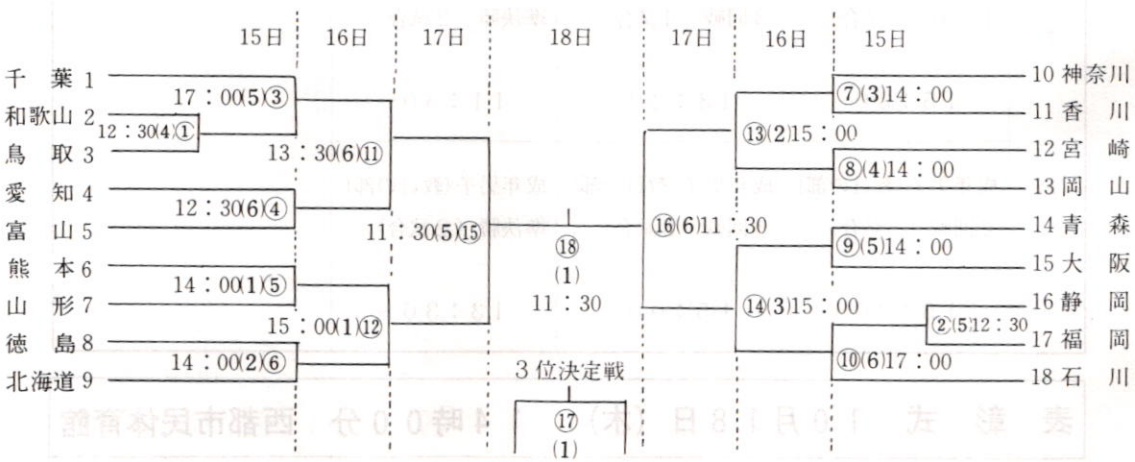
成　年　男　子　(T)

(教員の部)

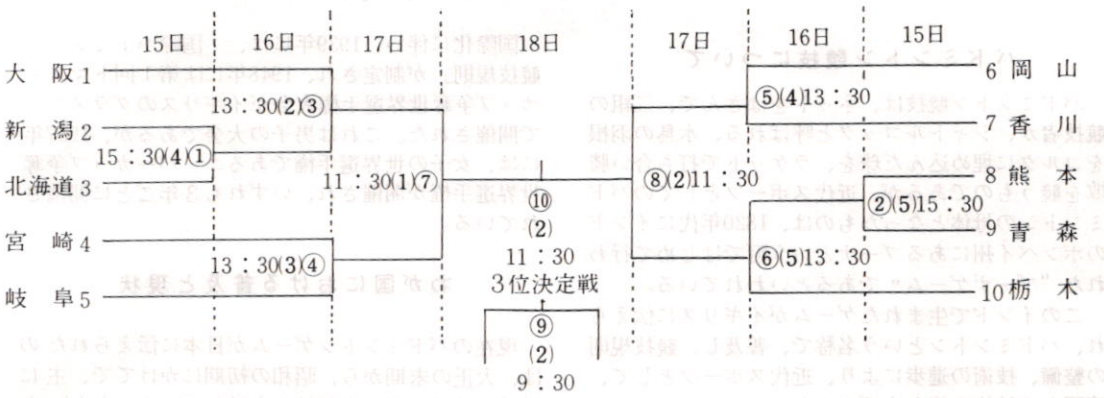


成　年　男　子　(M)

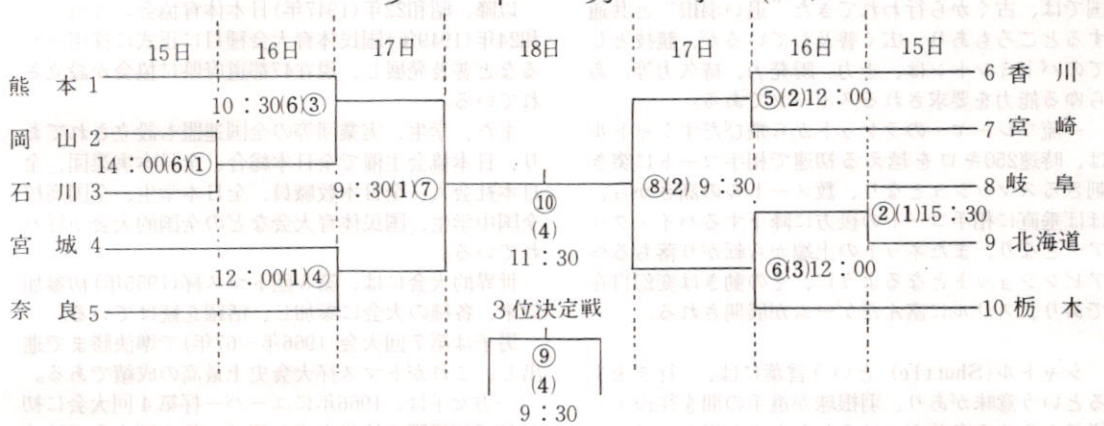
(一般の部)



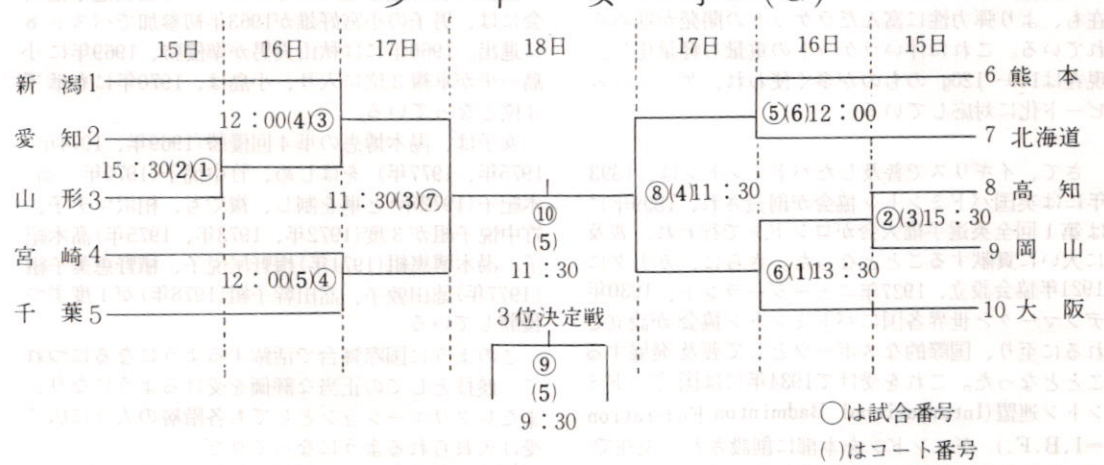
成　年　女　子（L）



少　年　男　子（B）



少　年　女　子（G）



○は試合番号

（）はコート番号

バドミントンの手引

バドミントン競技について

バドミントン競技は、ネットをはさんで、二組の競技者が、シャトルコックと呼ばれる、水鳥の羽根をコルクに埋め込んだ球を、ラケットで打ち合い勝敗を競うものであるが、近代スポーツとしてのバドミントンの母体となったものは、1820年代にインドのボンベイ州にあるプーナという町ではじめて行われた“プーナゲーム”であるといわれている。

このインドで生まれたゲームがイギリスに伝えられ、バドミントンという名称で、普及し、競技規則の整備、技術の進歩により、近代スポーツとして、確固たる地位を築き上げてきた。

レクリエーションとしてのバドミントンは、わが国では、古くから行われてきた“追い羽根”と共通するところもあり、広く普及しているが、競技としてのバドミントンは、走力、瞬発力、持久力等、あらゆる能力を要求されるスポーツである。

一流プレーヤーのラケットから飛びだすシャトルは、時速250キロを越える初速で相手コートに突き刺さるスマッシュとなり、数メートルの高さから、ほぼ垂直に相手コートの後方に降下するハイ・クリアーとなり、またネットの上端から転がり落ちるヘアピンショットとなるように、その動きは変幻自在であり、スリルに富んだゲームが展開される。

シャトル(Shuttle) という言葉には、 行き来するという意味があり、羽根球が選手の間を往復する様子からこの名前がつけられたものと思われる。ラケットは、かつては木製のものが使用されていたが技術の発達により改良が進められ、スチールシャフトの開発、そしてオールスチールの登場となり、現在も、より弾力性に富んだラケットの開発が進められている。これに伴いラケットの重量も軽量化し、現在は100～120g のものが多く使われ、ゲームのスピード化に対応している。

さて、イギリスで普及したバドミントンは、1893年には英国バドミントン協会が創設され、1899年には第1回全英選手権大会がロンドンで行われ、普及に大いに貢献することとなった。さらに、カナダに1921年協会設立、1927年ニュージーランド、1930年デンマークと世界各国にバドミントン協会 が設立されるに至り、国際的なスポーツとして普及 発展することとなった。これを受けて1934年には国際バドミントン連盟(International Badminton Federation =I.B.F.) がロンドンを本部に創設され、現在では、日本を含め約60カ国が加盟している。

国際化に伴い、1939年には、 国際バドミントン競技規則」が制定され、1948年には第1回トマス・カップ争奪世界選手権大会がイギリスのグラスゴーで開催された。これは男子の大会であるが、1957年には、女子の世界選手権であるユーバーカップ争奪世界選手権が開催され、いずれも3年ごとに開催されている。

わが国における普及と現状

現在のバドミントンゲームが日本に伝えられたのは、大正の末期から、昭和の初期にかけてで、主に横浜・神戸などの在留外人を通してであったといわれ、昭和21年(1946年)日本バドミントン協会が設立された。

以降、昭和22年(1947年)日本体育協会に加盟、昭和24年(1949年)国民体育大会種目に正式に採用されるなど普及発展し、現在47都道府県に協会が設立されている。

また、学生、実業団等の全国連盟も設立されており、日本協会主催で全日本総合、全日本実業団、全日本社会人、全日本教職員、全日本学生、全国高校全国中学生、国民体育大会などの全国的大会が行われている。

世界的大会には、第3回トマス杯(1955年)初参加以来、各種の大会に参加し、活躍を続けている。

男子は第7回大会(1966年～67年)で準決勝まで進出し、これがトマス杯大会史上最高の成績である。

一方女子は、1966年にユーバー杯第4回大会に初参加で初優勝の快挙を成し遂げ、第7回大会ではインドネシアに敗れたものの、第8回大会(1978年)でユーバー杯奪回に成功している。

個人の世界選手権とみなされている全英選手権大会には、男子の小宮好雄が1963年初参加でベスト8に進出。1966年には秋山真男が準優勝、1969年に小島一平が単複3位に入り、小島は、1970年にも単で3位となっている。

女子は、湯木博恵の単4回優勝(1969年、1974年1975年、1977年) をはじめ、竹中悦子(1970年) 高木紀子(1972年)と単を制し、複でも、相沢マチ子、竹中悦子組が3度(1972年、1973年、1975年)高木紀子、湯木博恵組(1971年)梅野尾悦子、植野恵美子組(1977年)徳田敦子、高田幹子組(1978年)が1度ずつ優勝している。

このように国際舞台で活躍するようになるにつれて、競技としての正当な評価を受けるようになり、またレクリエーションとしても各階層の人々に広く受け入れられるようになってきた。

国民体育大会には、昭和25年第5回愛知国体から

正式参加し、現在は、成年男子（一般の部、教員の部）、成年女子、少年男子、少年女子の４種目が行われ、ダブルス１、シングルス２による都道府県対抗トーナメント方式である。

競技の見方

主なシャトルの飛び方（フライト）は高く打つハイクリヤー、スマッシュ、ドロップショット、ネットで攻め合うヘヤピンショットなどで、とりわけネットに当って伝わるようなプレーがデリケートに応酬されるときはスリル満点である。

相手の弱点を攻め、体力を消耗させていく競技なので、「より早く」「より高く」「より前で」がゲームに勝つための三原則とされている。

試合は単、複（混合）の２種類で、１試合（マッチ）は１ゲーム15ポイント（女子単のみ11ポイント）で３ゲーム（２ゲーム）先取で行われる。

サーブした方（インサイド）が勝てば１ポイントが与えられてサービスを続け、レシーブ側（アウトサイド）が勝つと得点は変らずに、サービスオーバーとなってアウトサイドがインサイドとなる。但しダブルスの第２インニングからはパートナーがセカンドサーバーとなるので、２度のフォルトによりサービス権が変わる。

主審は必ずインサイドの得点からコールするのでどちらが何点かすぐわかるようになっている。

バドミントンには他の競技にあるジュースはなくセッティングが行われる。各ゲームで13点オールか14点オールとなったとき追いつかれたサイドがセッテイングするしないの権利を持っている。

セッティングしたときは、カウントをいったん０オールにし、改めて５点（13点オールのとき）または３点（14点オールのとき）ゲームとして勝負を決める。セッティングにはアゲインはない。

この場合の点数は、例えば18対15、17対14などとなる。女子シングルスでは、10点オールのときは２点、９点オールのときは３点のセッティングとなる。

主なフォルト（反則）は次の通りである。

１．ラインクロス、フットフォルト

サービスのときにサーバーやレシーバーがラインをふんだり、またいだりしたとき（パートナーはかまわない）。足をずらせたり、床から離したとき（一部でもついていればよい）。

２．オーバーウエスト，オーバーハンド

サービスが打たれる瞬間にシャトルがサーバーのウエストより高かったとき，または，ラケットの頭部全体がそのラケットを持っているサーバーの手全体よりも下にあることがはっきりと見分けられるまでラケットの頭部が下方をさしていなかったとき。

３．アウトなど

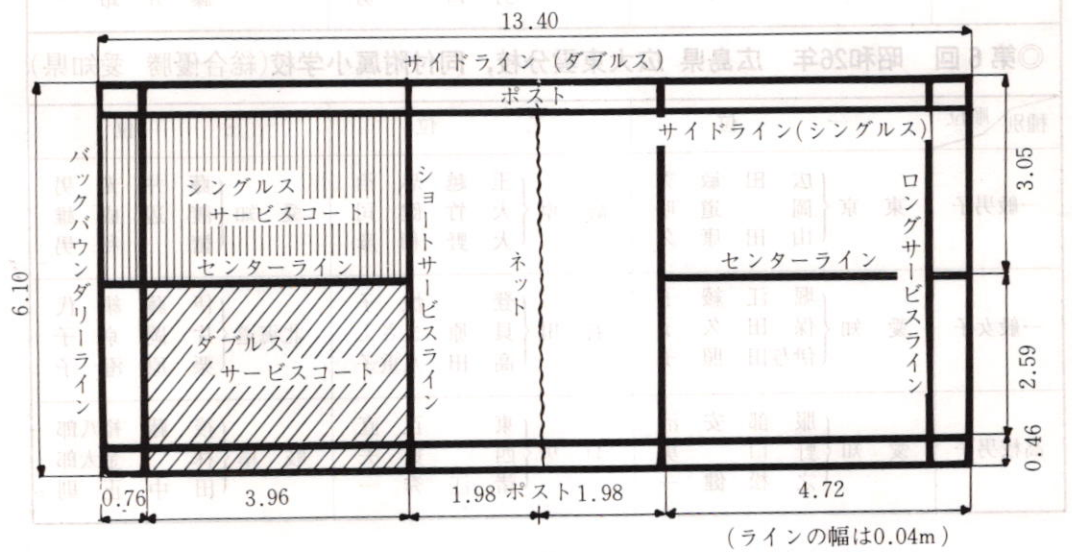
シャトルが相手のコートに入らなかったとき（決められているサービスコートに入らなかったとき）ただし、相手が打てば入ったことになる。自分のコート（サービスコート）に落ちたシャトルを打たなかったときや、シャトルが自分の身体や着衣に当ったとき。

４．ダブルタッチ、ドリブルなど

シャトルを１人が２度以上打ったり、続いてパートナーが打ったり、ホールディングしたとき。

５．オーバーザネット、タッチザネット、インターフェアなど。

ラケットや身体がネットにふれたり、相手側コートに入ったり、相手を妨害したとき。フォルトは主審が判定する。しかしサービスについてはサービスジャッジが、ラインについては担当のラインズマンが判定する。



（ラインの幅は0.04m）

過去の栄冠

◎第4回　昭和24年　東京都　東京YMCA（個人戦オープン）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子単	東京 広田敏秀	北海道 佐藤保	東京 藤井光男
一般男子複	東京 広田敏秀・藤井光男	神奈川 岡淳一・相場万吉	北海道 佐藤保・村上三郎
一般女子単	神奈川 吉田とよ子	愛知 吉沢千里	神奈川 遠藤文子
一般女子複	神奈川 吉田とよ子・遠藤文子	神奈川 小林歌子・中村たき	愛知 吉沢千里・後藤範子

◎第5回　昭和25年　愛知県 栄小学校，白鴎小学校，東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 広田敏秀・藤井光男・小宮淳宏・山田康久	神奈川 岡淳一・相馬万吉・大谷直次・松本武道	北海道 佐藤保・村上三郎・葛西英俊・若林守
一般女子	神奈川 吉田とよ子・遠藤文子・小林歌子・荒川とみ子	愛知 水谷鈴子・堀江綾子・保田久子・伊与田照子	北海道 伊藤絹代・安藤栄子・佐賀信子・片岡京子
高校男子	北海道 石田裕二・神山周一・大塚健夫・島中卓	愛知 川辺光男・石渡成雄・大竹健司・野口勇	神奈川 岡道明・村松弘喬・江井実一・藤井昂

◎第6回　昭和26年　広島県 広大東雲分校，同付附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 広田敏秀・岡道明・山田康久	岐阜 玉越忠治・大竹健司・大野和彦	愛知 藤井光男・渡辺成雄・蟹和男
一般女子	愛知 堀江綾子・保田久子・伊与田照子	石川 登悦子・貝原まさえ・高田八重子	北海道 伊藤絹代・片岡京子・栗原澄子
高校男子	愛知 服部安治・野口勇・之松健一	石川 東正直・西貞夫・諸江秀一	岐阜 後藤裕八郎・林金太郎・田中正則

◎第７回　昭和27年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 秀明一雄 敏道昂秀 広岡藤吉 田井原	北海道 裕二俊郎 周英豊三 田山西坂 石神葛野	東京 実敏茂朗 章芳 井宮崎藤 江小山佐
一般女子	石川 え子子絵 さ重 ま悦八衣 貝登高米 原田倉	東京 子子子子 江知成京 中谷瀬寺 田中生小 之野	愛知 子子子子 綾久照根 堀保伊水 江田田野 与
高校男子	東京 雄彦潔治 文一隆 望倉力鈴 月田石木	神奈川 男司明則 和英弾光 倉根藤島 新関内伏	石川 一夫三稔 秀晴圭 諸井山上 江上本田
高校女子	兵庫 子子子子 廷貞美一 広西小関 瀬尾原笠 津	山形 子子子明 照弘久美 藤嵐藤藤 佐五斎佐 十	神奈川 子子子緑 良美光 大竜藤中 川野田島

◎第８回　昭和28年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 秀豊久博 敏順 広佐川杉 田治崎田	東京 男一郎誠 光秀十一 藤諸相萩 井川川原	岐阜 司三昭郎 健竜哲太金 大松丹林 竹岡羽
一般女子	神奈川 子子子子 文歌と智 遠小荒小 藤林川野 み	北海道 子江子子 弘貴悦重 岡梅阿荒 元津部井	石川 え子子子 さ鷹 ま悦須ヤ 貝登島町 原谷駒
高校男子	北海道 敏則男充 兼方竜啓 片加長井 石藤川桁 谷	石川 男而男一 桂直幸健 江辻半岡 尻外崎田	神奈川 啓夫彦明 牧利弘 越花析内 川岡井藤
高校女子	宮城 子子子子 美富京範幸 西谷佐松 堀津藤本	香川 子子子 誉武久 大秋真 西山鍋	神奈川 子子子子 良光代澄 大藤竜波 川田野多野

◎第９回　昭和29年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	岐阜 治司三 忠健竜 玉大松 越竹岡	愛知 勇治夫 与貞 口部熊 野服稲	富山 正一男 友亥久 清釣荒 水谷木
一般女子	宮城 子子子 美富範京 西佐谷 堀藤津	石川 子え信 悦ま 澄貝渋 原谷	愛知 子子子 久照綾 保伊堀 田田江 与
高校男子	愛知 健正昭 場反藤 豊御伊 広雅	石川 信三昇 嘉桂 西江島 村尻谷 豆	愛知 一宏潔 沢内辺 富伊渡 健
高校女子	福島 子子子 信桂享 武伊尾 田藤形	岡山 美子子 嘉文基 大友三 森野宅	愛知 子子子 大美 大大 沢室竹 範久泰

◎第10回　昭和30年　神奈川県　神奈川県体育館，鶴見女体育館　（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜 大竹健司 松岡竜三 酒井弘	富山 釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島 武田信子 伊藤桂子	神奈川 荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道 梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京 永井栄一 北島勝英 小野岡順一	石川 北方匡 関谷功 米谷外喜彦	山形 生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山 友野文子 権田節子 三宅基子	宮城 佐々木功子 三津井静子 菅節子	香川 永田豊子 藤田紙代子 藤村怜子

◎第11回　昭和31年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ，生田中学（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 杉田博 佐藤芳明 佐藤昌久	大阪 上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山 毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城 西堀貴美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山 友野文子 権田節子 光本政子	兵庫 西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 斎藤裕之	北海道 四ツ柳邦夫 小桐正徳 岩本竜一	山形 板垣隆房 山岸重勝考志 鎚水
高校女子	香川 横井エ キヌ子 井上桂子 山下衣子	岡山 小林桂子 戸田寿子 根岸絢	宮城 三浦節 沼倉英子 三浦与志子

◎第12回　昭和32年　静岡県　富士市体育館，富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京 望月文雄 力石潔三 鈴木俊	北海道 島中良夫 星野嘉隆 神山修爾
一般女子	香川 横井エ キヌ子 井上桂子 山下衣子	岡山 権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川 大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川 酒井明夫 村田和男 堀知章	島根 平野隆 森脇英祐 富田豊
高校女子	香川 田島外茂子 山下久子 宮下ツヤ子	静岡 掛橋良子 村野弘子 佐西禎子	石川 有田順子 長田悠喜子 松田富美子

◎第13回　昭和33年 富山県 高岡女高体育館，南星中体育館（総合優勝 東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 片越花 石川岡 敏兼牧 啓夫	神奈川 杉佐佐 田藤藤 博芳昌 朗久	大阪 高上松 谷田王 弘芳益 志弘清
一般女子	香川 横山田 井下島 エヌ子 キ久外 子子茂 子	神奈川 小大二 林川見 歌良文 子子子	岡山 権光小 田本林 節政桂 子子子
高校男子	山形 金板小 森垣林 義善 弘憲賢	東京 鈴宮貝 木永戸 幸武 春司肇	奈良 森榎中 晃高安 一嗣正 川
高校女子	香川 藤有福 本木本 文みと 子子子 和	富山 高中栂 島島野 洋玲尾 子子桂 子	石川 山川竹 崎多 久節光 子子子 紀

◎第14回　昭和34年 東京都 足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 佐佐関 藤藤口 朗芳潔 久昌	石川 新酒村 田井田 治正治 夫和	大阪 松小小 王松松 志博貢 清康
一般女子	神奈川 大二権 川見野 良文み 子子子 や	香川 横山宮 井下川 エヌ子 キ久ツ 子ヤ子	富山 大高中 坪島島 子子子 い洋玲 あ
教員男子	神奈川 杉山石 田本原 博副治 義	大阪 佐宝北 藤来野 雄夫郎 茂敏敬 四	東京 平市柳 田川田 郎司規 志登和 直
高校男子	宮城 渡堀甲 部江斐 紘保昭 一雄宏	北海道 竜竹梅 瀬中木 彦光聡 康将	神奈川 山岡小 本崎坂 彦三充 洋恵拓
高校女子	香川 蔵有福 本木本 子子子 文みと 和	静岡 伊志石 沢村原 子子子 利セ待 ツ	富山 栂橋酒 尾井 桂子子 智智 美美

◎第15回　昭和35年 熊本県 菊池市体育館（総合優勝 富山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 永北貝 井島戸 一英肇 栄克	神奈川 佐遠砥 藤藤石 朗治勤 芳啓	富山 荒扇大 木沢野 男徳雄 久亥三幸
一般女子	富山 高中栂 島島野 子子子 洋玲桂	秋田 脇木横 坂村山 エ子子 チ政満	静岡 野伊志 村沢村 江子子 津志利 ツ
教員男子	石川 北河茂 方山藤 匡夫寛 晴	神奈川 杉山石 田本原 博副治 義	秋田 宮脇鈴 越坂木 三隆司 竜安裕
高校男子	神奈川 岡小長 崎坂谷 三充彦 恵拓敏 川	山形 佐出高 藤沢橋 彦男一 勝勇清	新潟 阿笠伊 部原藤 孚淳祐 洋
高校女子	富山 橘酒平 井田 子子子 智智 美美敦	香川 横林森 井 子子子 文信久	秋田 高石長 橋沢崎 子子子 奉七文

◎第16回　昭和36年 秋田県 象潟町中学校体育館（総合優勝 秋田県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 片永星 石井野 兼栄忠 敏一男	神奈川 佐岡遠 藤崎藤 芳恵啓 朗三治	山形 板出北 垣沢村 隆勇 房男任
一般女子	富山 栂橋酒 野井尾 美美智 桂智子 子子	秋田 木横高 村山橋 政満奉 子子子	香川 宮福横 川井井 ツ知文 ヤ子子 子
教員男子	石川 北河江 方原尻 晴圭 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田田山 博郎三 敬捷彦	秋田 脇鈴高 坂木橋 安裕弘 隆司喜
高校男子	新潟 大安星 竹沢野 紘武義 一司昭	北海道 中松松 村浦本 富直 光潔治	山梨 平秋早 田山川 真 勲男博
高校女子	山形 佐小矢 藤原口 弘詔淳 子子子	静岡 高天影 木野山 紀博昭 子江子	秋田 伊横大 藤山門 美綾モ 津子モ 子子子

◎第17回　昭和37年 岡山県　岡山県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝 東京都, 富山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 星富井 野田門 忠鎮 男豊雄	神奈川 遠鈴岡 藤木崎 啓敏恵 治勝三	愛知 北小長 島宮川 克好陽 英雄一
一般女子	香川 福横森 本井 知文久 子子子	富山 橋酒栂 井野尾 美智美 子子子	秋田 木横高 村山橋 政満奉 子子子
教員男子	石川 北河江 川山尻 原 晴桂 匡夫三	神奈川 杉秋岡 田山田 博彦郎 捷敬三	秋田 脇鈴真 坂木崎 安裕俊 隆司光
高校男子	新潟 本荒阿 田川野 務治善 男紀	東京 西須関 野田 征夫誠 一孝一	青森 奥長三 谷谷川 国 昭勇明 義
高校女子	富山 橘室河 崎村 妙光和 子子子	秋田 大大間 塚門瀬 シ子子 トサ幸 ヨ	岡山 高重七 塚放村 淳百泰 子枝子

◎第18回　昭和38年 山口県 下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 小板稲 宮垣熊 好善整 雄憲隆	東京 井宮堺 雄司一 門永 鎮武栄	島根 星富山 野田崎 忠 男豊茂 春
一般女子	秋田 横高長 山橋崎 満奉文 子子子	香川 田横森 島井 茂子 外文久 子子	富山 栂酒室 尾井崎 桂智光 子子子
教員男子	石川 北河江 方山尻 原 晴桂 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田田山 博郎三 敬捷彦	大阪 大北片 古世 野岡 弘郎 四 吉敬輝 明
高校男子	新潟 星裏樋 野田口 義光一 夫男春	東京 関中古 村屋 誠安正 一和	北海道 福林久 島田保 智 和 徳守男 田
高校女子	栃木 前松小 沢本出 和昭千 子子代	新潟 後茂竹 藤沢内 和純泰 子子子	北海道 高高村 森田田 幸裕泰 子子子

◎第19回　昭和39年 新潟県 県立三条高等学校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 小板岩 宮垣后 好善隆 雄憲昭	東京 永宮堺 井永栄 一司武	石川 新村沢 田田田 正和治 男力
一般女子	香川 横田森 井島外 文茂久 子子子	秋田 横高長 山橋崎 満寿文 子子子	岐阜 高天岩 木野后 紀博螢 子江子
教員男子	新潟 渡永佐 部井藤 紘俊 一司夫	石川 北河江 方山尻 晴桂 匡夫三	神奈川 杉岡秋 田田山 博三敬 郎彦捷
高校男子	新潟 鈴神片 木田山 正和 造夫毅	奈良 森橋真 芳夫 夫修一	富山 立盛高 野野林 正博弘 昭之則
高校女子	栃木 植大武 木島田 カタコ 子ヨ枝	新潟 竹石高 内本野 泰恵八 子美重子	秋田 佐中加 木川谷 フ枝ミ ミ美ユ 子子子

◎第20回　昭和40年 岐阜県 富田学園体育館（総合優勝 岐阜県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 小板長 宮垣谷 好善敏 雄憲彦	東京 堺宮田 永上 栄武十 一司六	香川 東山牟 条口田 義立 昭朗顕
一般女子	岐阜 高天高 木野田 紀博康 子江子	香川 横森加 井文和 子子子	新潟 後石竹 藤崎内 和妙泰 子子子
教員男子	石川 河北村 山原西 晴方 夫匡一	北海道 杉笹中 田森島 茂良剛 弘志	岡山 毛三柳 利宅本 清尭 志勝敏
高校男子	富山 椚寺中 尾野尾 昌信邦 一之雄	岐阜 堀杉尾 幸矩修 山関 美智則	奈良 真河滝 壁村野 俊憲公 才一一
高校女子	大阪 近才池 藤脇田 光妙栄 枝子子	岐阜 高稲川 橋葉本 葉良美 子子子	栃木 上石吉 野崎田 明喜サ 美代ト 子子子

◎第21回　昭和41年 大分県 日田林工高体育館（総合優勝 新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 小板安 宮垣沢 好善武 雄憲司	山梨 岡秋三 崎山上 恵真 三男勇	大分 宮田春 永中武 武大俊 司也一
一般女子	岐阜 高天高 木野田 紀博康 子江子	新潟 後石加 藤崎藤 昭妙 子子操	秋田 横高加 山橋谷 満奉ユ ミ子子 子子子
教員男子	北海道 杉安上 田達山 茂惟功 良彦夫	石川 河北原 山原方 晴栄 夫匡一	岡山 三毛柳 宅利本 清尭 勝志敏
高校男子	新潟 本高奥 間橋田 順良 次宣作	宮城 我市寒 妻川河 郎一一 清利	香川 西西小 辻崎田 和健忠 一弘庸
高校女子	山形 小遠伊 山藤藤 茂幹シ 子子子	新潟 本日高 間下坂 美恵悦 子子薫	岡山 湯浦佐 木口藤 博恵民 江子子

◎第22回　昭和42年 埼玉県 越ケ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 板垣 憲司 安沢 善宏 小林 武一	神奈川 島本 平彦 小山 一洋 遠藤 啓治	東京 堺田 一六八 本上 栄十平 橋
一般女子	香川 有木 子 横井 み江 山本 子 と 江 文真	新潟 五十嵐 明美 後藤 和子 加藤 操	岐阜 高木 紀子 天野 博江 虫賀 雅子
教員男子	富山 清水 隆 正木 芳郎 松山 信之	北海道 杉田 良 安達 茂彦 上山 功夫	宮城 加茂 和夫 渡部 紘一 菊地 功
高校男子	富山 米田 実 松島 保 谷口 寛	奈良 滝野 公一 小林 正昭 葛輪 博一	宮城 門間 幹夫 山田 哲夫 木戸 純一
高校女子	新潟 相沢 子 金子 マチ子 高坂 和子 美 薫	香川 小片 恵子 竹森 千子 山下 経美	栃木 田仲 枝 枝津 子 印波 和子

◎第23回　昭和43年 福井県 福井県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 岡崎 恵真 三男 秋山 登 田中	神奈川 小島 平 吉良 一人 渡辺 悠直	東京 堺西 栄一 一征 野関 一 誠
一般女子	岐阜 高木 紀子 天野 博江 安藤 久美子	東京 高橋 子 水野 も子 田仲 と夜 小津 美江	新潟 五十嵐 明美 後藤 和子 小林 邦子
教員男子	熊本 南工芦 直勇 治 藤原 健参 身	石川 北村 方匡 西 一 原 栄	岡山 毛利 清志 三宅 勝 柳本 堯敏
高校男子	富山 二上 敏博 草島 正治 布目 茂	山形 遠藤 好男 田所 光臣 伊藤 政	岐阜 岩田 昇 後藤 路宏 足立 守男
高校女子	大阪 平山 泰子 柴山 き子 高崎 弘子	香川 宮武 泰子 福本 幸子 赤沢 ひろ子	新潟 堀川 美子 竹中 栄子 大 礼子 由里

◎第24回　昭和44年 長崎県 諫早市体育館，県立諫早高校体育館（総合優勝 新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 窪田 恵 三男 秋山 真 応 野田 秀	神奈川 小渡 平 島辺 人二 坂本 一直聖	東京 堺西 栄一 一征 野関 一 誠
一般女子	岐阜 高木 紀子 天野 博江 高橋 千代美	京都 高田 橋子 仲 江 野 と津子 水 美夜	京都 永山 井下 かおり 岡崎 三枝子 繁
教員男子	熊本 西工 田 明 芦原 寿勇参 健身	岡山 毛利 清志 三宅 勝 柳本 堯敏	石川 北原 方匡 村 西 栄一
高校男子	新潟 本小 田 享 九泉 原 正司敏	群馬 内桐 田 夫 渡 生辺 通 台 次郎 稔	奈良 野河 村 忠 西 村野 安憲 一勇
高校女子	大阪 柴高 山 子 大 崎場 き子 弘照 よ美	岐阜 及脇 川 子 紅 田谷 恵子 和島 子	栃木 望石 月 か 阿久 崎 ず子 津 し 茂 ま さ子

◎第25回　昭和45年 岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝 岩手県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 窪田恵三男 秋山真一 野田秀応	東京 池田信孝 梅野尾昌一 鈴木健二	神奈川 小渡辺本坂 島辺本 一直聖平人二
一般女子	新潟 竹相後 中沢藤 悦マ和子チ子子	岐阜 高天桑 木野原 紀博富子江子	栃木 松石望 本崎月 昭喜代しず子か子
教員男子	岩手 佐々木 木々木 彦邦和 士夫彦	石川 北原松 方本本 匡栄忠一之	熊本 西工芦 田藤原 寿勇健 明参身
高校男子	奈良 選竹西 内川 康繁 司真美	石川 銭谷青 欽治村山 治吾信	岩手 高佐佐 橋藤藤 信吉 夫壮雄
高校女子	大阪 西秋秋 尾本本 真八幸 理代美子子	栃木 小藤池 林井田 敏幸静 枝子江	香川 川森田 東所 秀清静 美美子

◎第26回　昭和46年 和歌山県　湯浅中学校・耐久高校体育館（総合優勝 新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 渡辺小宮 小島川 直一秀 人平樹	山梨 窪秋岩 田山下 恵真一 三男雄	岐阜 森河安 田藤 芳義 夫満治
一般女子	新潟 鈴後本 木藤間 明和恵 美子美子	神奈川 杉味秋 田 良と陽 子子子	北海道 田高今 村野川 静美千 子子喜
教員男子	滋賀 久藤藤 田原上 保良健 昌二信	和歌山 森中佐 西藤 隆味伸 詳光	熊本 本南工 郷藤 節直勇 生治参
高校男子	新潟 土鈴佐 田木野 征 雄裕行 直	和歌山 山倉岡 本内 茂 樹微成 忠	奈良 西佐中 川野井 繁 美弘夫 基
高校女子	大阪 西秋秋 尾本本 真八幸 理代子 美子	福島 千宮木 葉内村 陽すみ瑞 子子江	岡山 林平三 田宅 寿美久喜 子江美 一

◎第27回　昭和47年 太陽国体 鹿児島県　南高校体育館（総合優勝 東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 小渡宮 島辺川 一直秀 平人樹	東京 鈴池梅 木田尾 健信昌 二孝一	山梨 窪秋岩 田山下 恵真一 三男雄
一般女子	東京 湯竹石 木中崎 博悦茂 江子子	愛知 橋池富 本田居 香静康 代江子	香川 小小森 片西 恵千幸 子代美
教員男子	和歌山 森中門 西間 詳幹 隆味夫	栃木 別斉森 井藤田 晃佶昇	石川 北原長 方谷川 栄 匡一進
高校男子	奈良 中南辻 井田 基義敏 夫正弘	石川 原山谷 下島 敏敏助 夫行男	岐阜 古角後 西田藤 純 悟勝一
高校女子	大阪 秋高徳 本田田 幸幹敦 子子子	山形 矢本今 口間田 洋浩真 子子知	千葉 山平瀬 田野野 尚美清 子千美

第28回　昭和48年 若潮国体 千葉県立茂原高校体育館（総合優勝 東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 平樹行 島川井 一秀教 小宮笠	東京 誠一孝 関尾 一昌 梱野 信尾 池田	愛知 次保寛 順 間島口 本松谷
一般女子	東京 江子子 湯相竹 木沢中 博マチ悦	香川 美美生 清秀弥 森川長 東尾	岐阜 江子子 博功悦 野沢野 天広日 比野
教員男子	滋賀 英信二 藤藤藤 上上原 良良健	石川 一進修 栄 原 川谷田 長和	山形 司三夫 井山藤 永高斉 昌和
高校男子	富山 美之雄 西梶上 村川 正博治	福島 繁光之 田部嵐 寺矢五 芳弘十	奈良 昭三夫 文恵利 池松坪 田重内
高校女子	大阪 子子子 徳高植 田田野 敦幹恵美	千葉 子代美 尚千 山田平 野野瀬	山形 子子子 堀清福 田水原 正礼友

◎第29回　昭和49年 水と緑のまごころ国体　茨城県石岡小学校体育館 石岡二高体育館（総合優勝 東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 孝一満 信昌茂 池梱今 田尾井	神奈川 平樹行 島川井 一秀教 小宮笠	愛知 保次寛 松本谷 島間口 順
一般女子	東京 子子子 石今柴 崎田山 茂真よ	香川 子子美 静豊秀 所口東 田山川	北海道 子千子 田高藤 村野島 静美百
教員男子	和歌山 夫志隆 門武森 間藤 幹隆	石川 一進夫 栄 原 川谷 長高 来秀	茨城 昭和郎 佐関大 藤本川 利昌健
高校男子	山形 二彦之 米中加 山島藤 孝俊信	奈良 一和博 良久信 本倉田 塚小村	福井 幸博平 川訪村 博芳幸 長諏中 谷
高校女子	新潟 子エ子 関大佐 根塚藤 和ノ由	香川 美子子 牛片渡 田山辺 真弓千	大阪 子子子 植野石 野川村 恵美好

◎第30回　昭和50年 たくましくあすをひらこう みえ国体　三重県立松阪高校体育館（総合優勝 石川県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	神奈川 平樹行 島川井 一秀教 小宮笠	東京 孝一治 信昌欽 田尾谷 池梱野 銭	富山 之勉男 博 村泉沢 河今米 和
	教員	石川 一進修 栄 原 川谷田 長和	群馬 治夫郎 井勇俊台次 今関桐 生	宮城 一一治 渡辺戸岩 木白 紘純良
成年女子		東京 江加子 湯池柴 木田山 博美よ	香川 美子子 秀静豊 東所口 川田山	岡山 子美子 石三藤 田田原 雅明敦
少年男子		奈良 浩夫司 吉富田 岡田島 伸章裕	石川 吉人志 庄直宏 森井本 宮酒坂	宮城 孝隆夫 橘沼宍 川沢戸 光 隆
少年女子		大阪 子子子 植北石 野村川 美弥好 恵寿	三重 美子花 元い知 谷槇野 口野崎	香川 子子保 前渋金 川谷崎 加茂美 代

◎第31回　昭和51年　若楠国体　佐賀県立牛津高校体育館 牛津町立牛津中学体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	神奈川 小島川宮笠井 一秀教 平樹行	富山 今牧米 泉野沢 勉光和男	石川 相米堂 川谷内 正 進隆均
	教員	石川 原長和 川谷田 栄 一進修	群馬 関今桐 井生 俊勇台次郎 男司	和歌山 門武山 間藤本 幹隆茂 夫志樹
成年女子		東京 湯石今 木崎田 博茂真 江子子	香川 石田牛 原所田 英静真由美 子子	大阪 西谷秋 尾津本 真理美幸 子代子
少年男子		石川 重森坂 山田本 成昌 生均嗣	滋賀 北西西 橋山堀 博 進司武	香川 平上木 野原田 勝敬 彦明二
少年女子		大阪 石平河 川村 好久美茂 子子美	新潟 青藤佐 木井藤 恵良友 子子子	東京 徳松永 永枝野 順睦ふみ 子子子

◎第32回　昭和52年　あすなろ国体　青森県浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	埼玉 尾飯土 崎野田 幹佳証 雄雄雄	東京 池梅銭 田尾谷 信昌欽 孝一治	神奈川 小笠辻 島井 一教敏 平行弘
	教員	石川 原長舛 川谷田 栄 一進光	群馬 今栗桐 井原生 勇恒台次郎 司夫	和歌山 門山米 間本山 幹茂正 夫樹和
成年女子		東京 湯池池 木田田 博美茂 恵加子	大阪 西谷秋 尾津本 真理美幸 子代子	香川 石田牛 原所田 英静真由美 子子
少年男子		滋賀 西矢山 山部田 博忠和 司司樹	栃木 角久関 田郷根 光俊 永明忠	青森 丹楠島 藤美内 勇誠俊 一悦二
少年女子		大阪 平河原 村口 久美茂恵 子子子	高知 浜田寺 田村田 由圭史 理香枝	青森 葛山柳 西下沼 明奈々瑞 子子代

◎第33回　昭和53年　やまびこ国体　長野県塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	千葉 田大西 所場村 光和龍 男博夫	新潟 棒鈴丸 木山 勇裕男 法	石川 相米堂 川谷内 正 進隆均
	教員	石川 長舛和 川谷田田 吉 進光修	群馬 今栗岩 井原崎 勇恒盛 司夫和	熊本 工稲田 藤津中 勇芳 参悟文
成年女子		大阪 谷秋東 本林海 美幸文 津子子	福岡 桶丸山 本山口 百富峰 合子江	栃木 沼日日 能山向 久裕野 子子藤
少年男子		熊本 本権井 石藤上 俊浩哲 憲二章	山形 桜五須 井嵐貝 雅正英 人弘徳 十	滋賀 保横川 科田嶋 正悟栄 浩司司
少年女子		新潟 月中斉 岡沢藤 広一優 美枝子	栃木 上高海 野田賀 加康里 代子美	大阪 合原北 川口田 裕恵ス 子子ミ

◎第34回　昭和54年　日本のふるさと宮崎国体 宮崎県西都市民体育館（総合優勝　　）							
種別＼順位		一	位	二	位	三	位
成年男子	一般						
	教員						
成年女子							
少年男子							
少年女子							

MEMO

第34回国民体育大会 バドミントン競技 男女総合(天皇杯得点)成績採点表

総合成績計算委員長＿＿＿＿＿＿＿＿

		成年男子						少年男子		成年女子		少年女子		種別得点合計	競技得点算出順位	男女総合(天皇杯得点)成績				
		一般の部		教員の部		部得点合計	順位	種別得点	順位	種別得点	順位	種別得点	順位	種別得点		算出基礎			合計	順位
		順位	部得点	順位	部得点											競技得点	種別優勝得点	参加得点		
1	北海道																			
2	青森																			
3	岩手																			
4	宮城																			
5	秋田																			
6	山形																			
7	福島																			
8	茨城																			
9	栃木																			
10	群馬																			
11	埼玉																			
12	千葉																			
13	東京																			
14	神奈川																			
15	山梨																			
16	新潟																			
17	長野																			
18	富山																			
19	石川																			

株式会社 ベストパートナー

20	福井																				
21	静岡																				
22	愛知																				
23	三重																				
24	岐阜																				
25	滋賀																				
26	京都																				
27	大阪																				
28	兵庫																				
29	奈良																				
30	和歌山																				
31	鳥取																				
32	島根																				
33	岡山																				
34	広島																				
35	山口																				
36	香川																				
37	徳島																				
38	愛媛																				
39	高知																				
40	福岡																				
41	佐賀																				
42	長崎																				
43	熊本																				
44	大分																				
45	宮崎																				
46	鹿児島																				
47	沖縄																				

第34回国民体育大会 バドミントン競技 女子総合(皇后杯得点)成績採点表

総合成績計算委員長 _____

		成年女子		少年女子		種別得点合計	競技得点算出順位	女子総合(皇后杯得点)成績				
								算出基礎				
		順位	種別得点	順位	種別得点			競技得点	種別優勝得点	参加得点	合計	順位
1	北海道											
2	青森											
3	岩手											
4	宮城											
5	秋田											
6	山形											
7	福島											
8	茨城											
9	栃木											
10	群馬											
11	埼玉											
12	千葉											
13	東京											
14	神奈川											
15	山梨											
16	新潟											
17	長野											
18	富山											
19	石川											

令和○年度 ○○○

20	福井												
21	静岡												
22	愛知												
23	三重												
24	岐阜												
25	滋賀												
26	京都												
27	大阪												
28	兵庫												
29	奈良												
30	和歌山												
31	鳥取												
32	島根												
33	岡山												
34	広島												
35	山口												
36	香川												
37	徳島												
38	愛媛												
39	高知												
40	福岡												
41	佐賀												
42	長崎												
43	熊本												
44	大分												
45	宮崎												
46	鹿児島												
47	沖縄												

都道府県別参加一覧表

ブロック	県名	監督	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子	計
			一般	教員				
北海道	北海道	5	3	3	3	3	3	20
東北	青森	3	3	3	3			12
	岩手	1		3				4
	宮城	2		3		3		8
	秋田	1		3				4
	山形	3	3	3			3	12
	福島	1		3				4
関東	茨城	1		3				4
	栃木	3		3	3	3		12
	群馬	1		3				4
	埼玉	1		3				4
	千葉	3	3	3			3	12
	東京	1		3				4
	神奈川	2	3	3				8
	山梨	1		3				4
北信越	新潟	3		3	3		3	12
	長野	1		3				4
	富山	2	3	3				8
	石川	3	3	3		3		12
	福井	1		3				4
東海	静岡	2	3	3				8
	愛知	3	3	3			3	12
	三重	1		3				4
	岐阜	3		3	3	3		12

ブロック	県名	監督	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子	計
			一般	教員				
近畿	滋賀	1		3				4
	京都	1		3				4
	大阪	4	3	3	3		3	16
	兵庫	1		3				4
	奈良	2		3		3		8
	和歌山	2	3	3				8
中国	鳥取	2	3	3				8
	島根	1		3				4
	岡山	5	3	3	3	3	3	20
	広島	1		3				4
	山口	1		3				4
四国	香川	4	3	3	3	3		16
	徳島	2	3	3				8
	愛媛	1		3				4
	高知	2		3			3	8
九州	福岡	2	3	3				8
	佐賀	1		3				4
	長崎	1		3				4
	熊本	5	3	3	3	3	3	20
	大分	1		3				4
	宮崎	5	3	3	3	3	3	20
	鹿児島	1		3				4
	沖縄	1		3				4
参加総計		95	54	141	30	30	30	380

参加チーム一覧表（監督・選手名）

番号	県名	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子
		一般	教員			
1	北海道	平山　三城 遠藤　好男 木村　敏男 九原　正敏	西村　幸衛 菅原　宏志 奥山　和也 熊谷　敏美	越前屋直行 高野美千子 田垣恵美子 吉村　恭子	五十嵐宣善 常通　博 内田　智秋 小飼　清統	山名　国裕 藤本三津子 桝田　令子 竹川さより
2	青森	佐藤　清志 須藤　茂 大川　信昌 村元　英美	横山　正二 佐藤　光伸 宮崎　雅秀 花田　康夫	藤田　祂 松田　敦子 工藤　孝子 岡崎　優子		
3	岩手		杉田　忠光 佐々木彦士 佐々木邦夫 高田　満			
4	宮城		今野　虔 木戸　純一 千葉　仁 白岩　良治		鈴木　務 桜場　光浩 井上　克己 佐藤　文彦	
5	秋田		木村　敬次 斎藤　侃 中川　忠博 加藤　信樹			
6	山形	薄衣　健治 秋庭　一生 丸山　勝美 岡田　寿紀	武田藤一郎 永井　司 横山　正 鹿野　昭男			清水　秀裕 佐藤栄美子 阿部　礼子 庄司ひろみ
7	福島		斉藤　勝 山口　栄一 深谷　敬一 橋本　遊二			
8	茨城		大川健太郎 佐藤　利昭 関本　昌和 井上　定男			
9	栃木		館野　政男 工藤　吉彦 高橋　正義 村上　幸一	小塙　宏人 日山　裕子 日向野藤枝 大嶌　和代	別井　晃 馬場　良浩 小野口　正 大島　正志	

番号	県名	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子
		一般	教員			
10	群馬		西巻 育夫 今井 勇司 栗原 恒夫 鏑木 智博			
11	埼玉		五十里光秋 阿部 秀夫 帰山 好和 高橋 清治			
12	千葉	峯元 一匡 田所 光男 大場 和博 織本 富之	臼井 俊治 上田 勉 丸山 秀之 中村 新一			牧野 建夫 上久保美恵子 小菅 智子 二藤部博子
13	東京		小泉 直坦 伊藤 澄 保坂 佳人 佐藤 孝広			
14	神奈川	鈴木 勝之 小島 一平 高橋 清 菅 敏明	瀬戸 孝 杉田 博 松本 友行 池田 隆治			
15	山梨		白倉 一民 保坂 和也 金子 寛 滝川 修			
16	新潟		佐藤 俊夫 吉田 孝良 橋崎 則宗 藤尾 隆	捧 勇 佐野栄美子 平野 幸 池田 信子		佐藤 秀夫 藤井 直子 遠藤えり子 冨岡 栄子
17	長野		平林 良治 百瀬 健司 矢野 貴直 石川 澄夫			
18	富山	河村 博之 今泉 勉 牧野 光男 米沢 和男	正木 史郎 清水 芳隆 中島 三郎 二上 敏博			
19	石川	村西 一 堂谷内 均 米 正隆 原 敏夫	中島 寿禧 長谷川 進 和田 修 舛田 吉光		河原山晴夫 坂井外喜男 金谷 賢一 村本 幹夫	

番号	県名	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子
		一般	教員			
20	福井		竹内 泰一 川端 武和 神戸 照 高岡 桂			
21	静岡	七沢 宏光 笠井 好美 後藤 和之 井出 裕雄	中嶋 鎮也 中田 稔 後藤 照彦 宮崎 寿夫			
22	愛知	松島 保 山本 秀樹 梶川 博之 坂本 昌嗣	田中 章喜 平松 孝孔 平岩 友憲 山崎 実興			伊藤 雅昭 丸井ひとみ 奥村ひろみ 桜井 由美
23	三重		大世古吉弘 南 善雄 西城 博 平田 欽也			
24	岐阜		河田 歳雄 長谷川 哲 平野 幸彦 岩田 甲司	上原 章 名和 和子 戸田 洋子 野入 弥生	天野 鎮一 和泉 伸次 戸崎 守雄 戸崎 友博	
25	滋賀		藤上 良英 藤原 健二 藤上 良信 脇坂 重之			
26	京都		山本 博 飴田 純一 松永 正雄 小田 剛			
27	大阪	嵯峨 健一 和田 泰寛 松口 金彦 谷島 助男	宝来 敏夫 杉田 忠邦 仲尾 信一 伊勢田善昭	品川 則之 東海林文子 葛西 明子 原口 恵子		片岡 輝明 北田スミ子 植田日出子 冨田美千代
28	兵庫		平林 弘嗣 児島 晋 木島 行雄 酒井 雅一			
29	奈良		木村 寛 服部 明 吉村 禎訓 茶谷 正美		谷口 章 貴田 昌史 古賀 勝志 藤井 聡	

番号	県名	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子
		一般	教員			
30	和歌山	武藤 隆志 穂谷 真弘 山本 茂樹 米山 正和	宮崎 弘志 森 隆 門間 幹夫 宮崎 康夫			
31	鳥取	山根 怜 高真 広 出石 勉 栗原 隆政	福本 国愛 庄司 毅 山本 英司 岸 利也			
32	島根		高麗 久義 松尾 益吉 多久和次郎 平井 謙			
33	岡山	虻江 優 藤原 航 芳上 一男 藤原 道弘	柳本 堯敏 三宅 勝 岡本 次郎 小田 和文	岡本 武利 石田 雅子 小寺 裕美 岡部 五月	小原 健吾 前田 雅美 竺原 博文 秋柴 裕之	毛利 清志 松島 万子 天野 真理 原田 美和
34	広島		花木 良蔵 中居 昌樹 杉原 安幸 志田原友逸			
35	山口		福永 正一 林 道彦 三井 裕 松本 克彦			
36	香川	大森 博一 日下 昇 新田 義文 辻本 義文	秋山 隆城 藤原 和文 竹林 良明 金崎 孝二	東条フミ子 平井佐代子 山田 高子 前川加代子	地下 義文 岡野 佳治 小西 太 竹田 佳央	
37	徳島	加林 章 勢喜 雅章 増金 秀行 戒野 裕二	平岡 嘉泰 四宮 澄夫 松本 利春 福岡 卓一			
38	愛媛		平木 弘一 奥田 啓介 池田 節幸 逸見 寛二			
39	高知		山本 能也 堀川 定満 谷岡 敏男 門田 茂穂			勝賀瀬健三 高鴨 芳香 清藤 和 田内 和美

番号	県名	成年男子		成年女子	少年男子	少年女子
		一般	教員			
40	福岡	西本　孝 野見山弘次 江口　俊彦 本石　幸一	村尾　隆 鎗水　浩吉 中島　政人 梅崎　雄二			
41	佐賀		築地　孝彦 大谷　雅行 犬塚　逸郎 北村　照夫			
42	長崎		柿本　修宜 香島　正佳 浜司　晃 吉岡　律			
43	熊本	築山　元博 工士　恭司 田中　恒典 木村喜美生	本郷　節生 工藤　勇参 稲津　悟 野口　誠也	木村　弘典 後藤　早苗 大村多喜子 相良　裕美	西田淳二郎 権藤　浩二 村上　英介 井上　哲章	西田　寿明 川添　安代 高峯　和子 陣内貴美子
44	大分		弘山　元 吉田　信之 佐藤　紘一 谷上　和年			
45	宮崎	吉野　幸一 徳永　英敏 野中　芳郎 黒木　雄二	小村　周作 山内　勇紀 蓑毛　覚 松浦　良一	大田原武美 秦　稚枝子 馬渡奈保子 一政　由子	橋口　学 小村　和義 伊藤　芳文 佐藤　宏一	河野　真積 川畠真由美 稲留　聡子 石原真由美
46	鹿児島		原口健二郎 前野親二郎 榊　辰弘 秋武　達朗			
47	沖縄		又吉　慧 屋比久　潔 津嘉山　孝 大城　義徳			

大会の注意

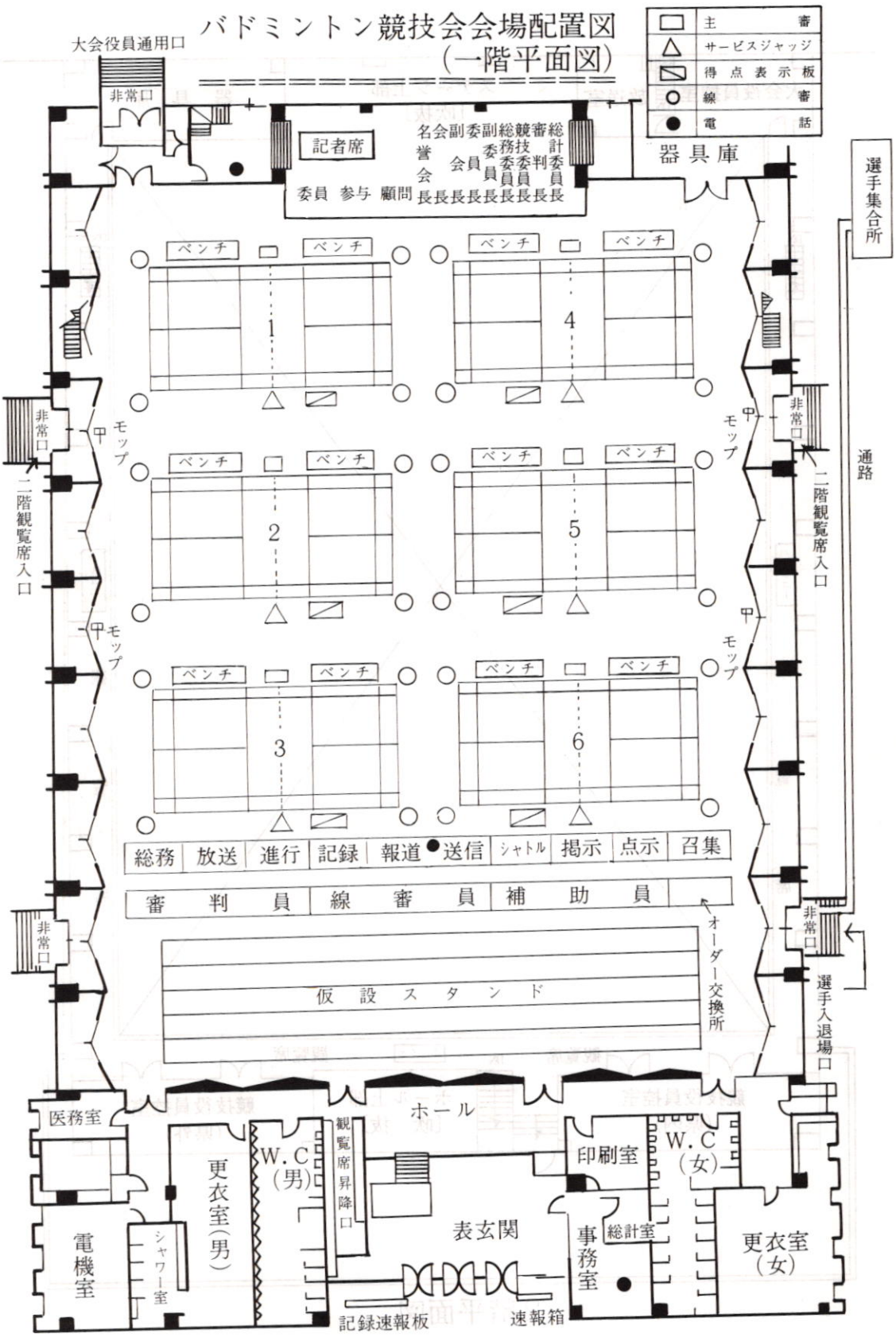
1．各競技、練習会場とも、運動ぐつは競技用と屋外用をはっきり区別すること。

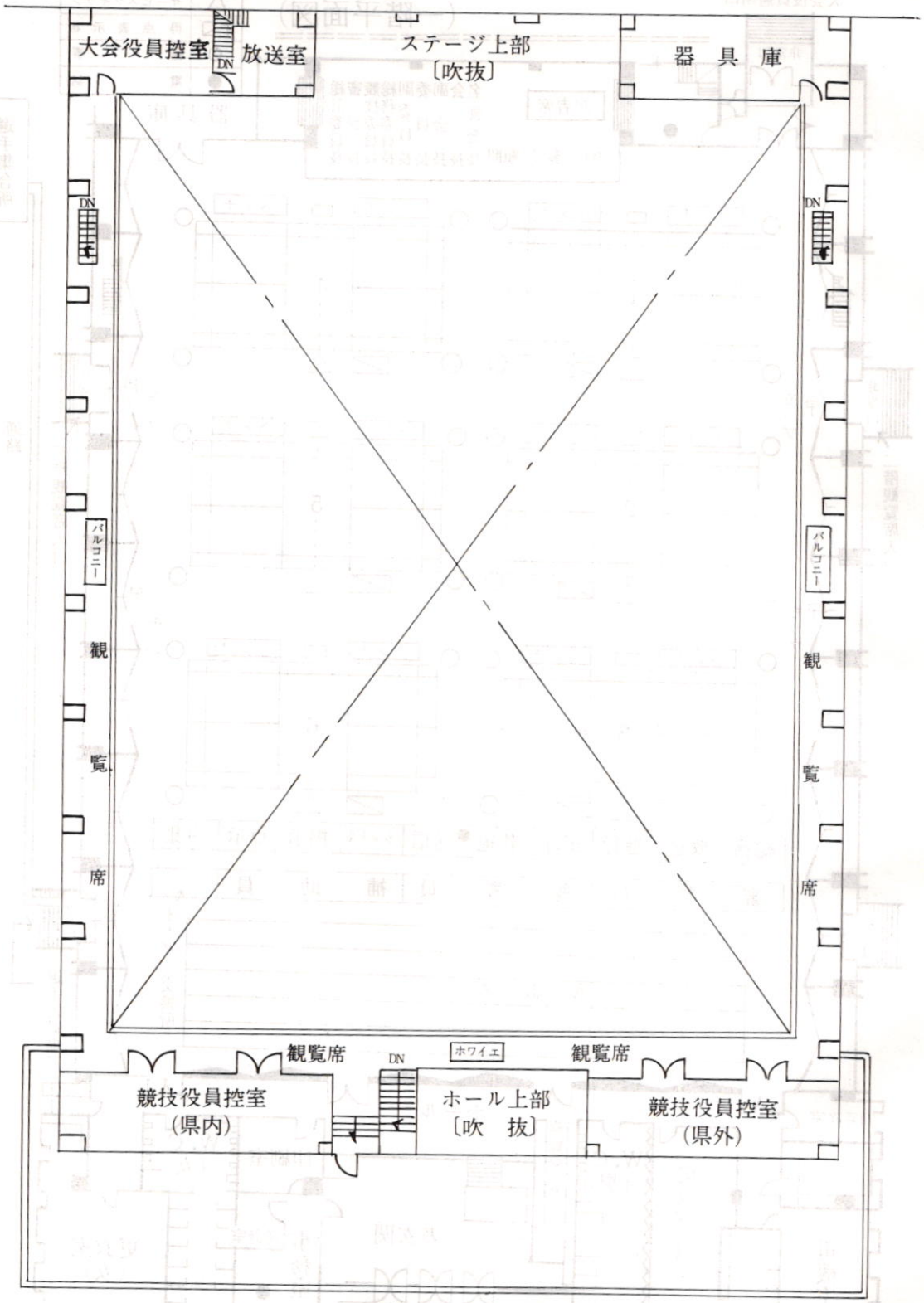
2．競技区域内には、競技者および役員以外は立ち入らないこと。

3．会場内は禁煙。喫煙は指定の場所ですること。

4．貴重品、その他の持物については、各自の責任において管理すること。

バドミントン競技会会場配置図（一階平面図）




大会役員控室
放送室
DN
ステージ上部
〔吹抜〕
器　具　庫
DN
DN
バルコニー
バルコニー
観
覧
席
観
覧
席
観覧席
DN
ホワイエ
観覧席
競技役員控室
(県内)
ホール上部
〔吹　抜〕
競技役員控室
(県外)

2階平面図

バドミントン競技会場周辺配置図




N
至熊本→
正門
妻中体育館
練習会場
国道二一九号線
○選手休憩所
中学校
更衣室
駐車出口
高鍋職安
西都市市民会館
武道場
駐車場
西都市中央公民館
駐車場
（一般）
至妻駅→
至宮崎
車場入口

宿舎・競技会場・練習会場案内

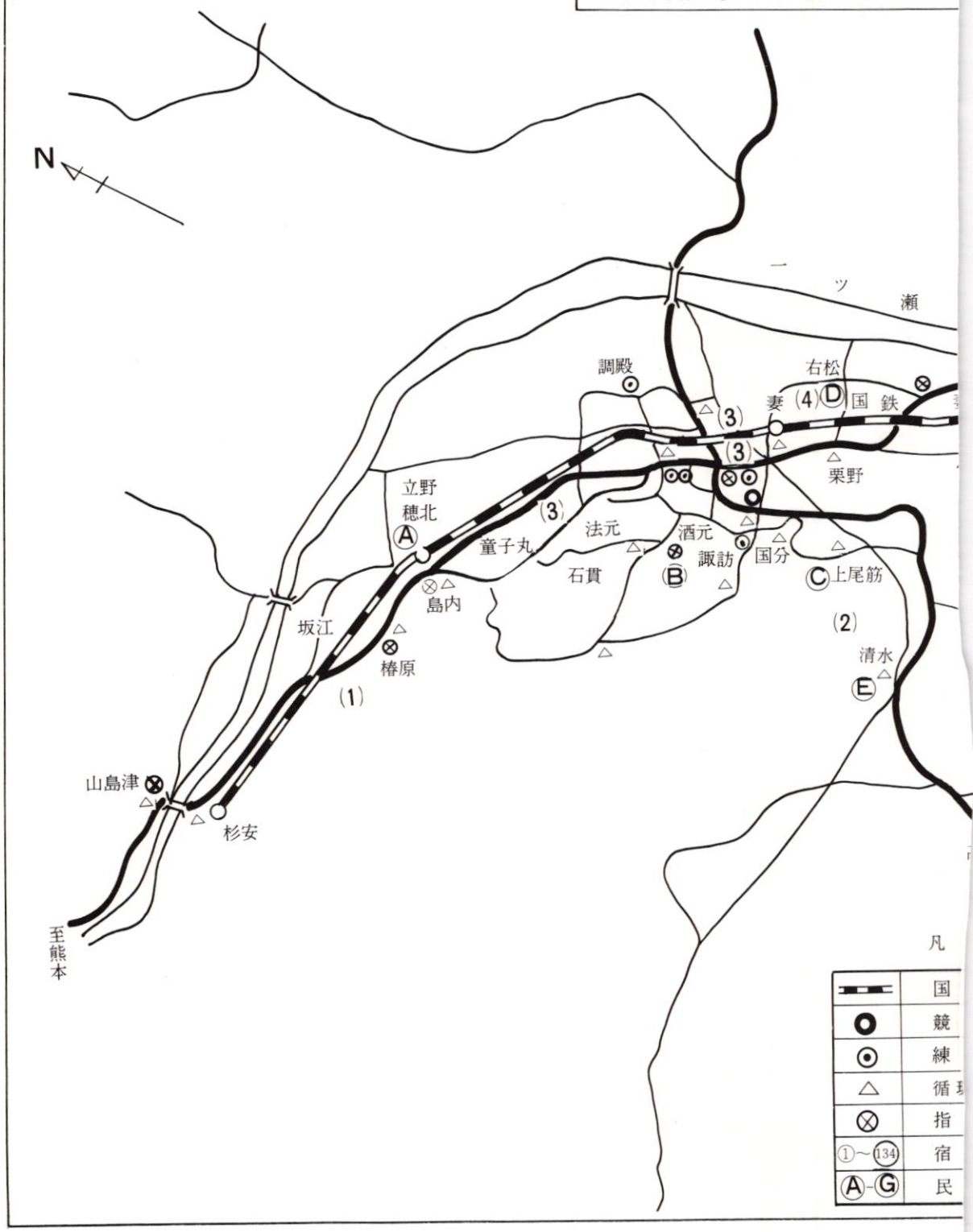


内図

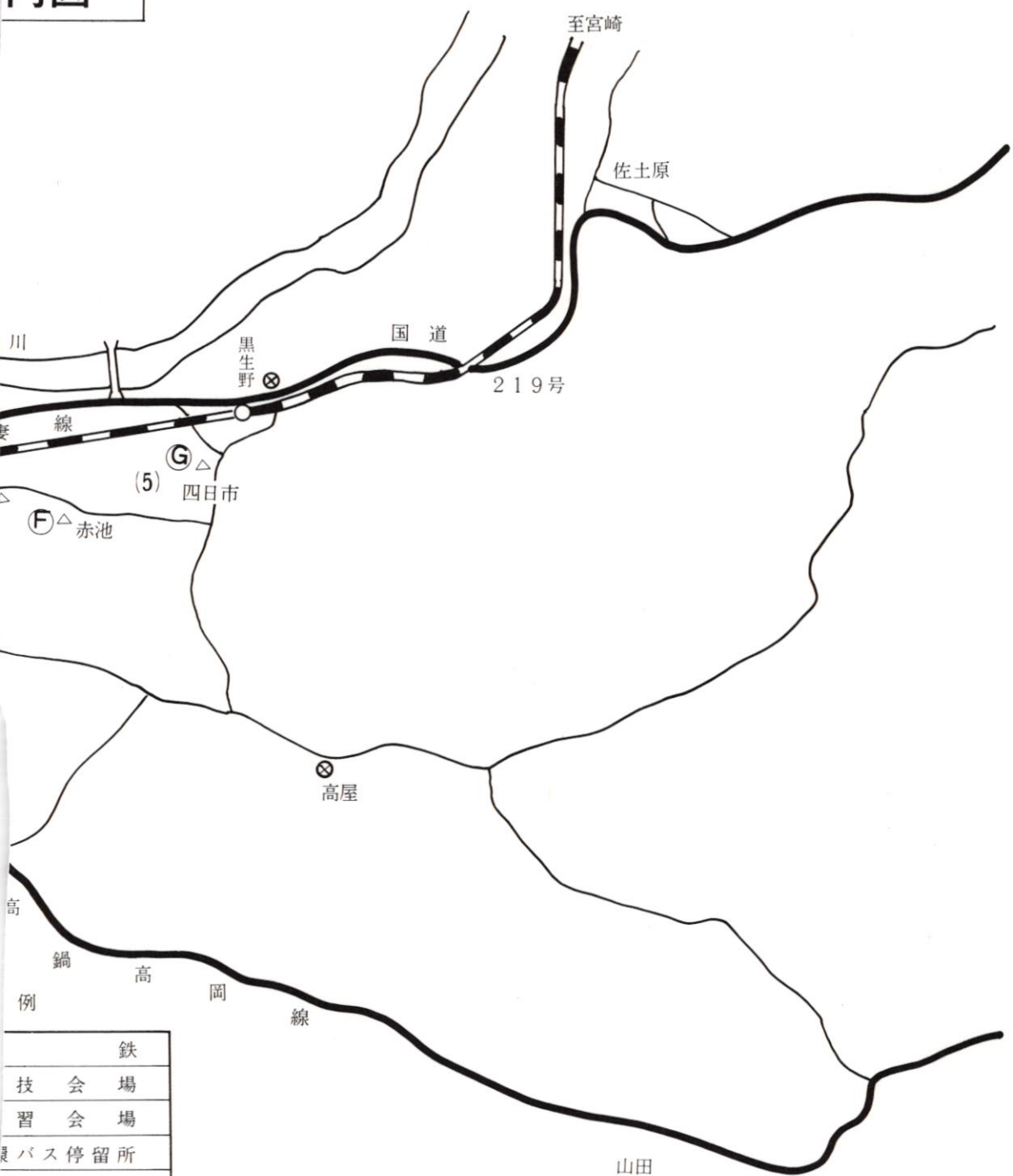
① 沼口旅館
② 鎌田旅館
③ 旅館第二小畑
④ 旅館峡都



西都市会場宿舎案


N
一ツ瀬
調殿
右松
妻
(4)
D
国鉄
(3)
(3)
栗野
立野
穂北
A
(3)
法元
酒元
諏訪
国分
童子丸
石貫
B
C
上尾筋
島内
坂江
椿原
(1)
(2)
清水
E
山島津
杉安
至熊本
凡
国
競
練
循
指
①～⑭
宿
A-G
民

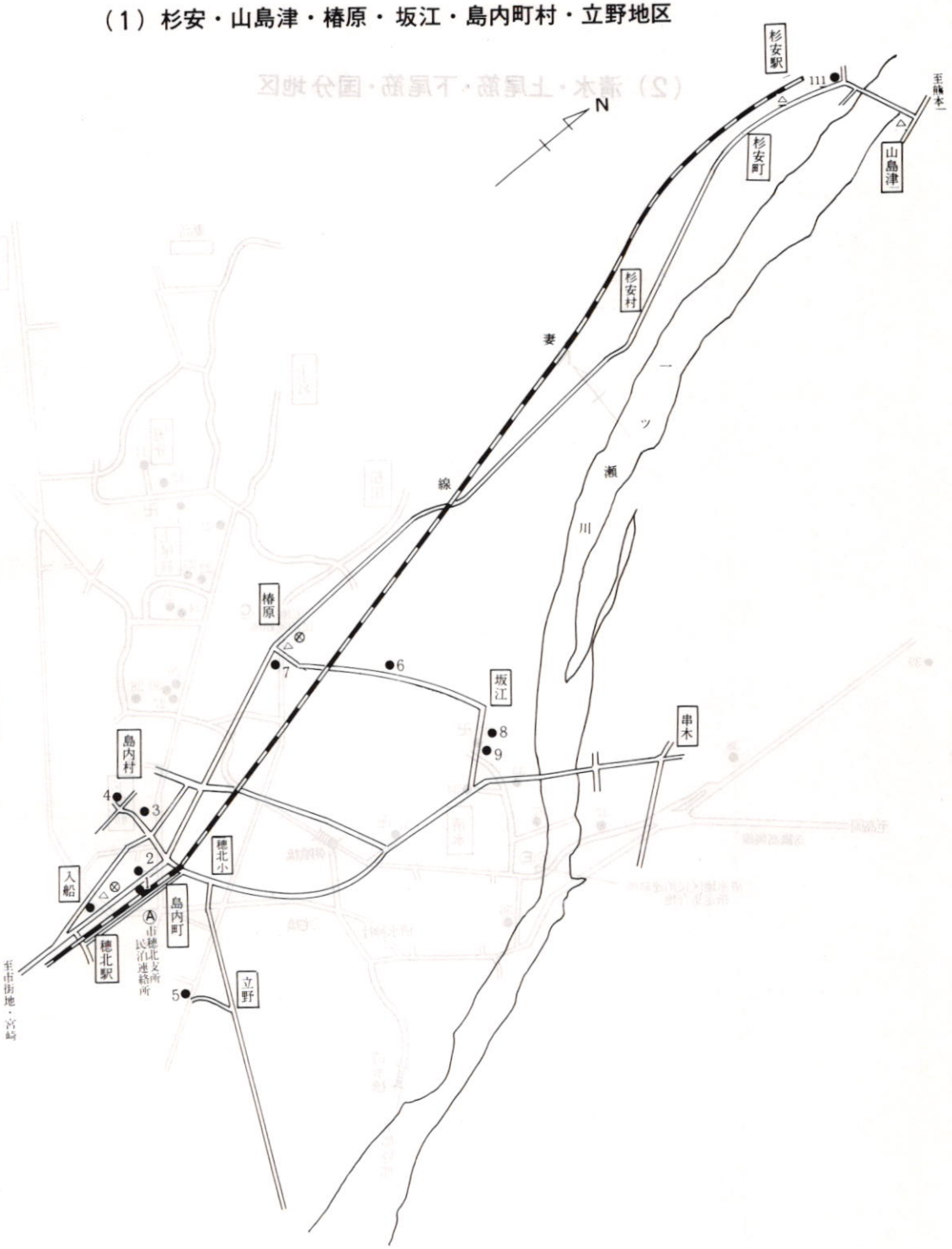
内図



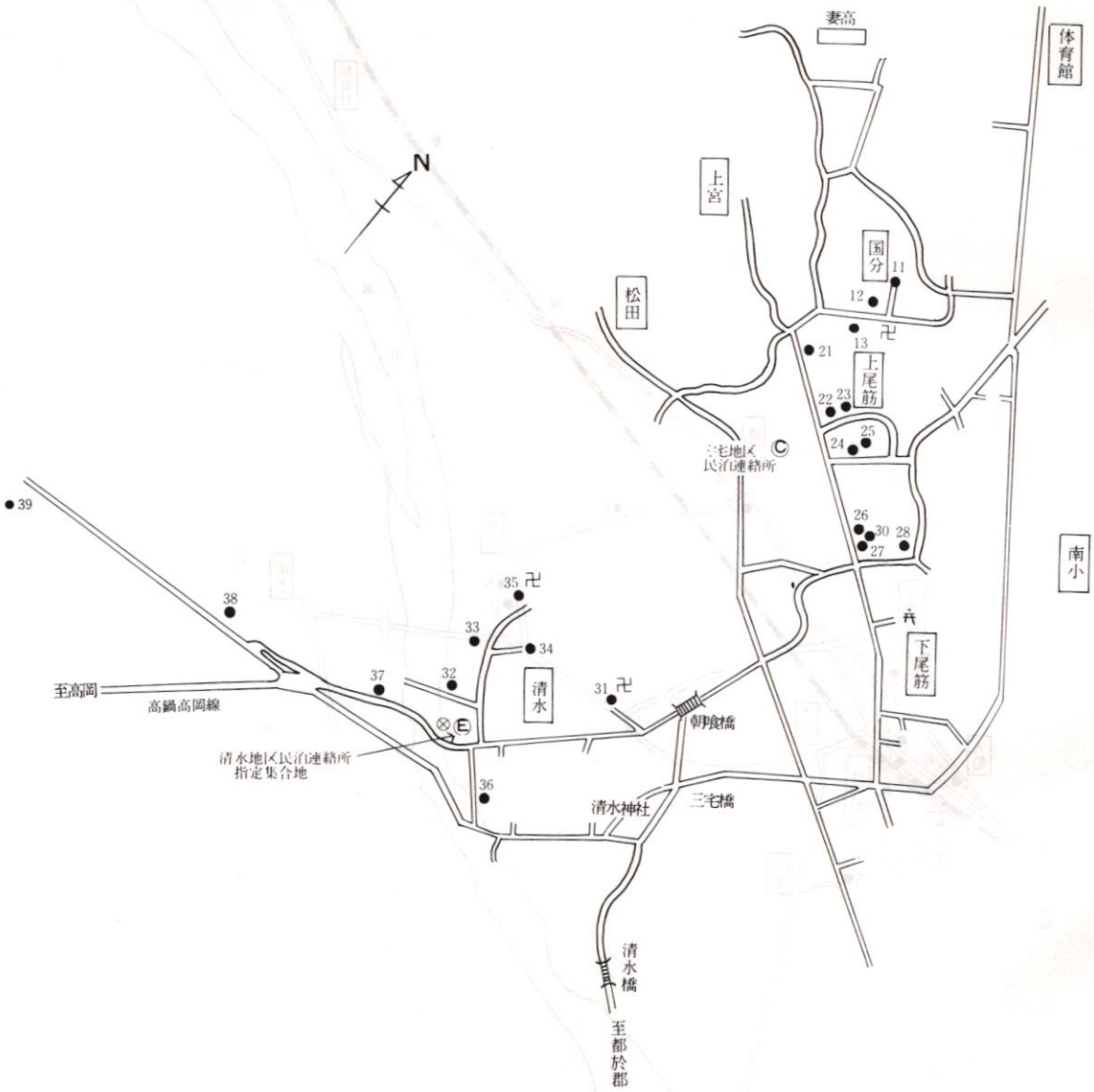
	鉄
技	会　場
習	会　場
隠	バス停留所
定	集合地
舎	位　置
泊	連絡所

5万分の1縮図

（1）杉安・山島津・椿原・坂江・島内町村・立野地区

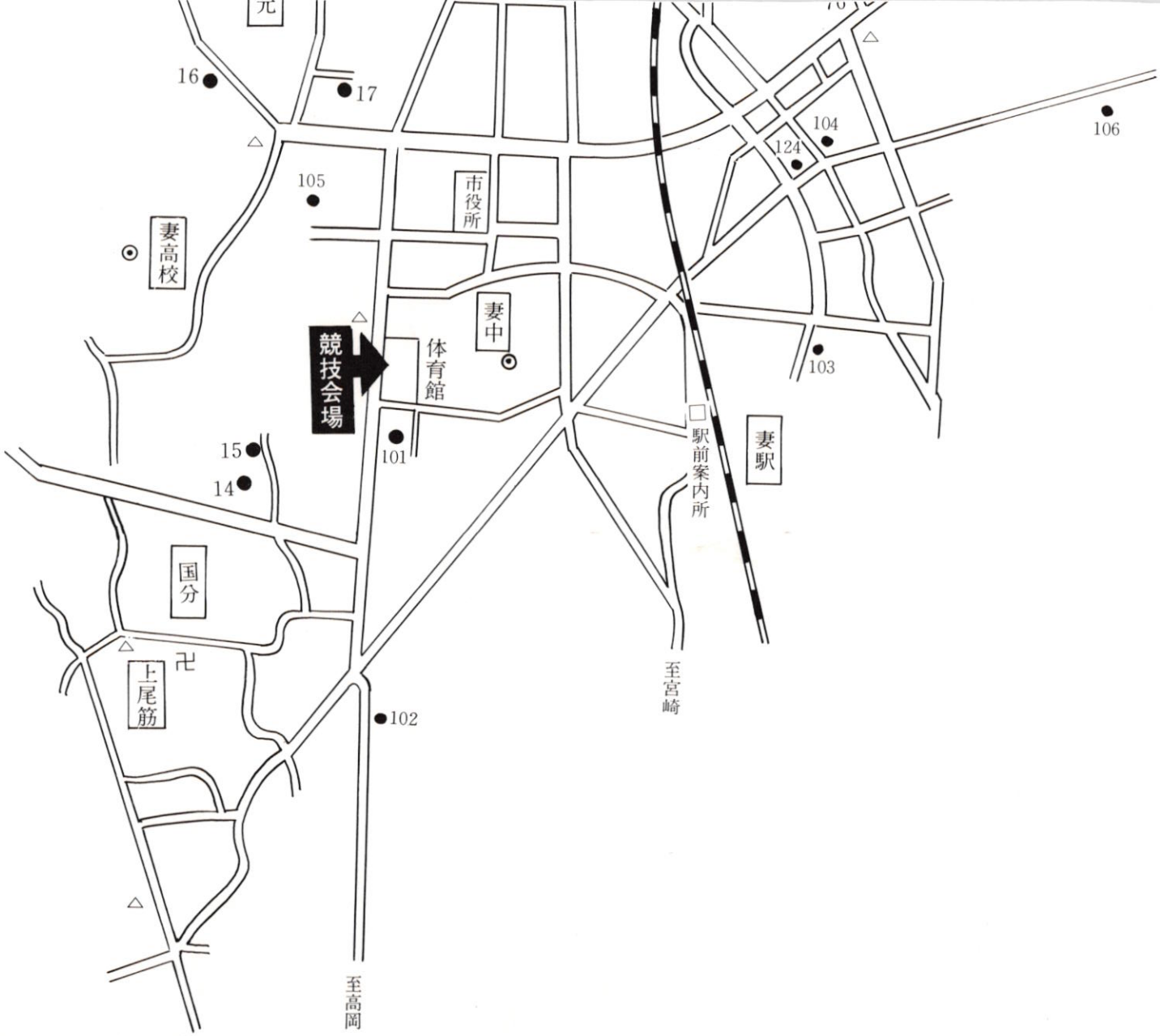


（2）清水・上尾筋・下尾筋・国分地区

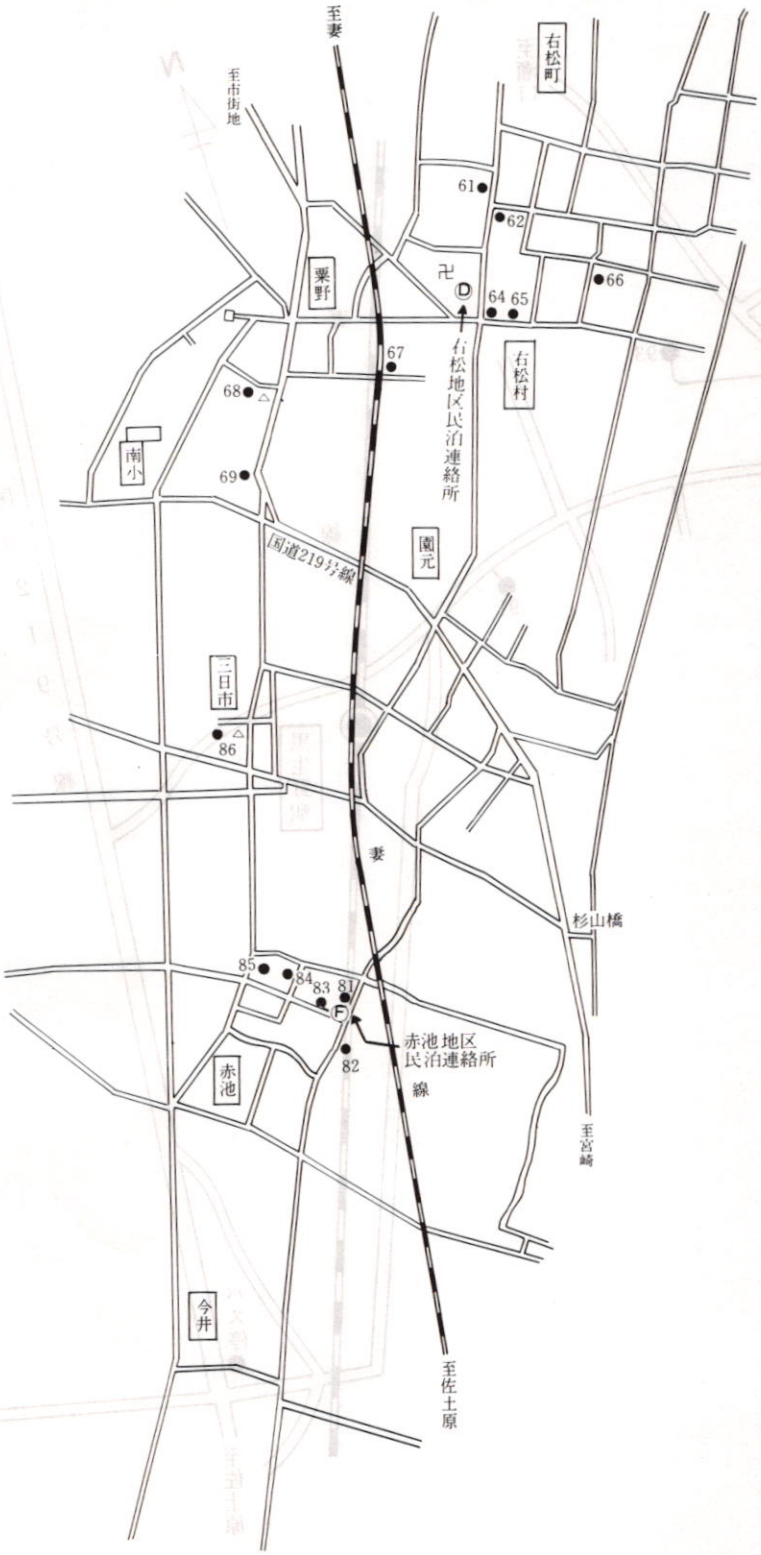


(3) 新町・法元・石貫・童子丸
中妻・諏訪・酒元・調殿
市街地区




元
16
17
105
市役所
妻高校
妻中
競技会場
体育館
101
15
14
国分
上尾筋
102
至高岡
104
124
106
103
駅前案内所
妻駅
至宮崎

（4）右松町村・園元・赤池　三日市地区



(5) 四日市地区


至瀬口
N
至妻
妻
線
国道219号線
100
99
98
95
97
96
94
92
93
91
Ⓖ
四日市地区
民生連絡所
△公
黒生野駅
バス停
至佐土原

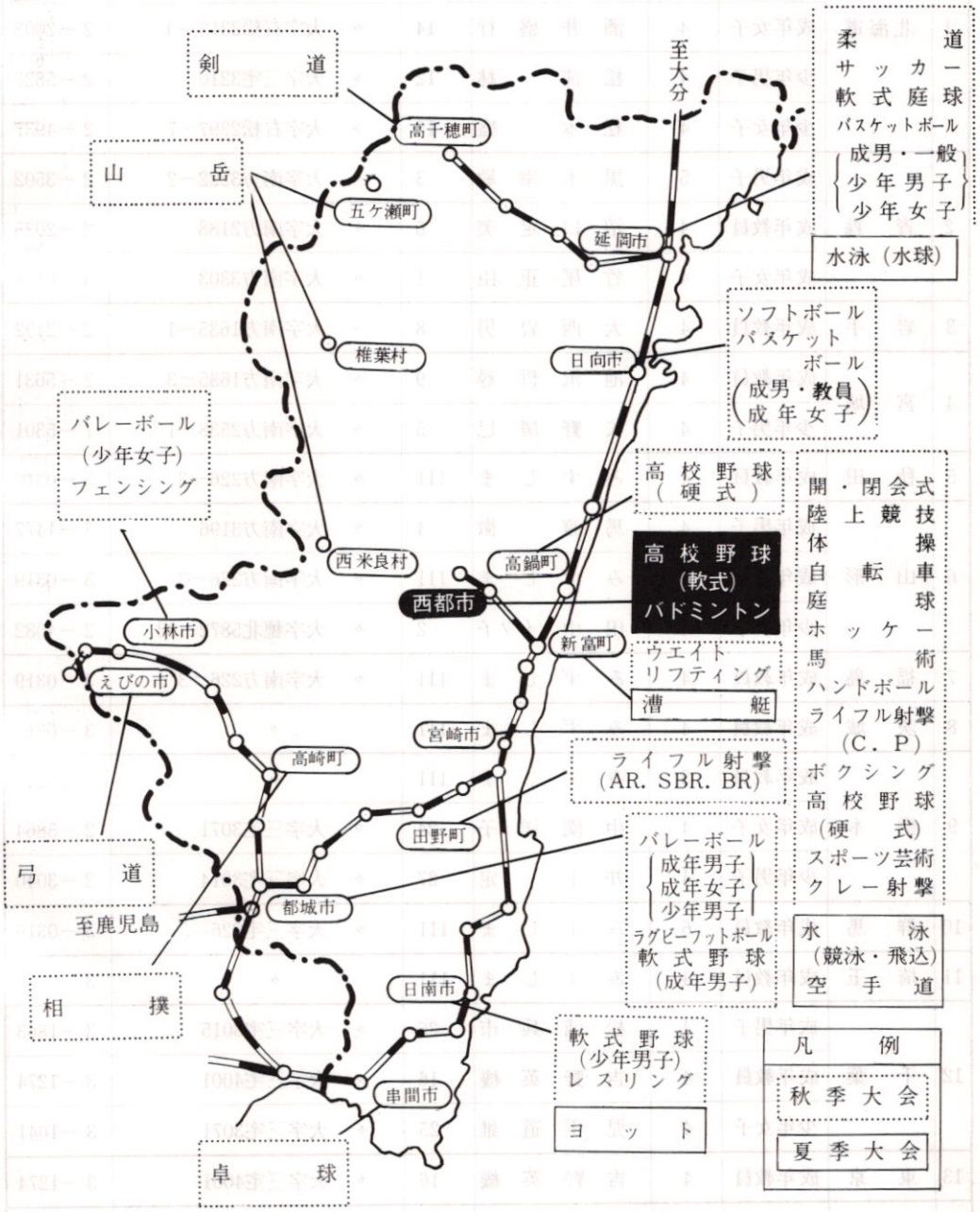
練習会場使用日

日程	会場 / コート / 時間	第1練習会場（妻高校）						第2	
		1	2	3	4	5	6	1	
12日(金)	12：00～13：30	宮崎T	宮崎M	宮崎L	宮崎B	宮崎G		千葉T	
	13：30～15：00	秋田T	福島T	宮城T	宮城B	新潟L	新潟G	山形T	
	15：00～16：30	北海道T	北海道M	北海道L	北海道B	北海道G	沖縄T	栃木T	
13日(土)	9：00～10：15	宮崎T	宮崎M	宮崎L	宮崎B	宮崎G	福島T	鳥取T	
	10：15～11：30	熊本T	熊本M	熊本L	熊本B	熊本G	鹿児島T	宮城T	
	11：30～12：45	岡山T	岡山M	岡山L	岡山B	岡山G	三重T	香川T	
	12：45～14：00	石川T	石川M	石川B	千葉T	千葉M	千葉G	和歌山T	
	14：00～15：15	福岡T	福岡M	大分T	岐阜L	岐阜B	岐阜T	山形T	
	15：15～16：30	愛知T	愛知M	愛知G	沖縄T	長野T	島根T	新潟T	
14日(日)	総合開会式								
第1日目 15日(月)	9：40～11：00	奈良T	高知T	鳥取T	鹿児島T	静岡T	福島T	ウォ	
	11：00～12：30	熊本M	山形M	徳島M	北海道M	神奈川M	香川M		
	12：30～14：00	岐阜B	北海道B	愛知G	山形G	高知G	岡山G		
	14：00～15：30	和歌山T	岡山T	千葉T	T ②	T ③	香川T		
	15：30～17：00	T ⑤	滋賀T	三重T	T ⑥	T ⑦	青森T		
第2日目 16日(火)	8：30～9：15	T ⑪	富山T	宮城T	T ⑫	T ⑬	福井T		
	9：15～10：30	宮城B	奈良B	香川B	宮崎B	B ②	栃木B		
	10：30～12：00	G ②	大阪G	大阪L	L ①	宮崎L	岐阜L		
	12：00～13：30	M ⑤	M ⑥	M ⑦	M ⑧	M ⑨	M ⑩		
	13：30～15：00	T ㉒	T ㉓	T ㉔	T ㉕	T ㉖	T ㉗		
	15：00～16：30								
第3日目 17日(水)	8：30～10：00	L ③	L ④	L ⑤	L ⑥	G ③	G ④		
	10：00～11：00								
	11：00～12：00								
第4日目 18日(木)	8：30～10：00	T ㊹	T ㊺	L ⑦	L ⑧	M ⑮	M ⑯		

程表

練習会場（妻中学校）			第3練習会場（西都商業高校）				第4練習会場（妻北小学校）		
2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
千　葉M	千　葉G								
山　形M	山　形B	山　梨T							
栃　木L	栃　木B	岩　手T	香　川T	香　川M	香　川L	香　川B			
鳥　取M	静　岡T	静　岡M							
宮　城B	富　山T	富　山M	大　阪T	大　阪M	大　阪L	大　阪G	奈　良T	奈　良B	群　馬T
香　川M	香　川L	香　川B	北海道T	北海道M	北海道L	北海道G	福　井T	高　知T	高　知G
和歌山M	神奈川T	神奈川M	青　森T	青　森M	青　森L	北海道B	栃　木T	栃　木L	栃　木B
山　形M	山　形G	滋　賀T	秋　田T	山　梨T	岩　手T	京　都T	徳　島T	徳　島M	佐　賀T
新　潟L	新　潟G	茨　城T	長　崎T	東　京T	埼　玉T	山　口T	愛　媛T	広　島T	兵　庫T
ーミングアップ会場			和歌山M	鳥　取M	静　岡M	福　岡M	愛　知M	富　山M	
			宮　崎M	岡　山M	青　森M	大　阪M	岡　山B	石　川B	
			新　潟L	北海道L	熊　本L	青　森L	石　川T	T　①	
			栃　木T	T　④	千　葉M	M　①	M　②	石　川M	
			熊　本T	T　⑧	T　⑨	神奈川T	北海道T	T　⑩	
			大　阪T	T　⑭	T　⑮	群　馬T	熊　本B	B　①	
			新　潟G	G　①	宮　崎G	千　葉G	熊　本G	北海道G	
			岡　山L	香　川L	L　②	栃　木L	M　③	M　④	
			T　⑯	T　⑰	T　⑱	T　⑲	T　⑳	T　㉑	
			T　㉘	T　㉙	T　㉚	T　㉛			
			B　③	B　④	B　⑤	B　⑥			
			G　⑤	G　⑥	M　⑪	M　⑫	M　⑬	M　⑭	
			T　㊵	T　㊶	T　㊷	T　㊸			
			B　⑦	B　⑧	G　⑦	G　⑧			

第34回国民体育大会夏・秋季大会
競技会場配置図



都道府県別監督・選手宿舎一覧表

都道府県名		種別	宿泊人員	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
1	北海道	成年男子	4	吉野重夫	13	西都市大字三宅3190	(09834) 2－3004
		成年教員	4	松浦繁富	11	〃 大字三宅3216	2－2473
		成年女子	4	酒井盛行	14	〃 大字右松2313－1	2－2002
		少年男子	4	松浦林	12	〃 大字三宅3210	2－5827
		少年女子	4	松本盛	15	〃 大字右松2297－7	2－4937
2	青森	成年男子	5	黒木幸敏	3	〃 大字南方3222－2	2－3502
		成年教員	4	沼口定美	6	〃 大字南方2188	2－2025
		成年女子	4	竹尾正臣	1	〃 大字南方3303	3－0486
3	岩手	成年教員	4	大西岩男	8	〃 大字南方1635－1	2－2192
4	宮城	成年教員	4	池沢哲尋	9	〃 大字南方1635－3	2－5631
		少年男子	4	矢野房巳	5	〃 大字南方2538－1	7－5301
5	秋田	成年教員	4	みずしま	111	〃 大字南方226－3	3－0319
6	山形	成年男子	4	馬渡徹	4	〃 大字南方3196	3－1477
		成年教員	4	みずしま	111	〃 大字南方226－3	3－0319
		少年女子	4	田中イツ子	2	〃 大字穂北5872－32	2－4082
7	福島	成年教員	4	みずしま	111	〃 大字南方226－3	3－0319
8	茨城	成年教員	4	みずしま	111	〃	3－0319
9	栃木	成年教員	5	みずしま	111	〃	3－0319
		成年女子	4	中園洋子	24	〃 大字三宅3071	2－5864
		少年男子	4	井上定	27	〃 大字三宅3014	2－3040
10	群馬	成年教員	6	みずしま	111	〃 大字三宅226－3	3－0319
11	埼玉	成年教員	4	みずしま	111	〃	3－0319
12	千葉	成年男子	4	松浦兵市	26	〃 大字三宅3015	3－1863
		成年教員	4	吉野英機	16	〃 大字三宅4001	3－1274
		少年女子	4	児玉道雄	25	〃 大字三宅3071	3－1041
13	東京	成年教員	4	吉野英機	16	〃 大字三宅4001	3－1274
14	神奈川	成年男子	4	児玉誠夫	23	〃 大字三宅3079	2－3022

都道府県名		種別	宿泊人員	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
14	神奈川	成年教員	4	松坂　勇	17	西都市大字三宅4055	(09834) 2－3821
15	山梨	成年教員	4	山本直幸	21	〃　大字三宅3094	3－0542
16	新潟	成年教員	4	吉野繁敏	22	〃　大字三宅3085	2－3025
		成年女子	4	相良　弘	37	〃　大字清水163－2	7－3451
		少年女子	5	川口正治	39	〃　大字清水1146	2－5138
17	長野	成年教員	4	清水　社	28	〃　大字三宅3011	2－3044
18	富山	成年男子	5	寺山房美	34	〃　大字清水251－1	7－3498
		成年教員	4	広沢常康	30	〃　大字三宅3014	3－1722
19	石川	成年男子	4	清水宗諦	35	〃　大字清水637	2－2336
		成年教員	4	小牟田英心	31	〃　大字清水291	3－0741
		少年男子	4	小宮政治	36	〃　大字清水126－1	2－3963
20	福井	成年教員	5	八木忠臣	32	〃　大字清水189－1	2－2325
21	静岡	成年男子	5	橋口和佳	41	〃　大字右松2858	3－0432
		成年教員	4	寺山房男	33	〃　大字清水225	7－3506
22	愛知	成年男子	4	橋口和佳	41	〃　大字右松2858	3－0432
		成年教員	4	小野　昭	38	〃　大字清水752－7	3－2345
		少年女子	4	永松文憲	43	〃　大字右松2838－4	3－1727
23	三重	成年教員	5	横山人見	45	〃　大字妻22－3	2－2107
24	岐阜	成年教員	4	壱岐博海	46	〃　大字右松2911－1	2－5299
		成年女子	4	井上定光	42	〃　大字三宅4320	2－2130
		少年男子	4	長峰恵男	44	〃　大字右松2838－1	3－0879
25	滋賀	成年教員	4	横山　昇	52	〃　大字三宅4635－6	2－2727
26	京都	成年教員	4	宇田津雄策	57	〃　大字童子丸541	3－0612
27	大阪	成年男子	4	黒木直善	54	〃　大字童子丸19	2－2824
		成年教員	4	宇田津雄策	57	〃　大字童子丸541	3－0612
		成年女子	4	那須茂松	53	〃　大字三宅4542－2	2－2722
		少年女子	5	横山　悟	51	〃　大字三宅4641－1	2－2264

都道府県名		種別	宿泊人員	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
28	兵庫	成年教員	4	橋口貞雄	58	西都市大字童子丸591	(09834) 3－0759
29	奈良	成年教員	4	牧久夫	59	〃 大字童子丸605	3－0125
		少年男子	4	大沢哲稔	56	〃 大字童子丸486	2－2261
30	和歌山	成年男子	4	阿万藤次	55	〃 大字童子丸511	2－2844
		成年教員	4	沼口定保	66	〃 大字右松1188	2－2868
31	鳥取	成年男子	4	沼口敏	64	〃 大字右松1089	3－1881
		成年教員	4	原田昭	103	〃 大字妻715	3－1576
32	島根	成年教員	5	井上隆夫	68	〃 大字三宅77	2－2260
33	岡山	成年男子	4	沼口正照	65	〃 大字右松1116	2－2375
		成年教員	4	横山京子	69	〃 大字三宅84－3	3－4405
		成年女子	4	沼口義澄	62	〃 大字右松1648	3－0639
		少年男子	4	長友忠市	67	〃 大字右松1964	2－2888
		少年女子	4	矢野義憲	61	〃 大字右松1721－1	3－1540
34	広島	成年教員	4	横山京子	69	〃 大字三宅84－3	3－4405
35	山口	成年教員	5	宮野原英俊	71	〃 大字調殿327	3－0768
36	香川	成年男子	4	加藤広文	72	〃 大字調殿351	3－1784
		成年教員	4	片岡忠雄	81	〃 大字三宅762	7－2565
		成年女子	4	杉尾テル	76	〃 大字妻107	2－2235
		少年男子	4	清郁夫	75	〃 大字調殿839	3－1047
37	徳島	成年男子	4	岡本孝夫	74	〃 大字調殿236－4	2－3416
		成年教員	4	戸高栄	82	〃 大字三宅714	7－2556
38	愛媛	成年教員	4	矢野又二	83	〃 大字三宅766	3－1669
39	高知	成年教員	4	長友幸助	84	〃 大字三宅820	7－2581
		少年女子	4	重永浩子	73	〃 大字調殿340	2－5731
40	福岡	成年男子	5	原田稔	92	〃 大字岡富599	2－2507
		成年教員	4	長友和美	85	〃 大字三宅804	2－2510
41	佐賀	成年教員	4	甲斐章	86	〃 大字三宅239－2	2－2272

都道府県名		種別	宿泊人員	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
42	長崎	成年教員	4	米良松芳	96	西都市大字岡富532	(09834) 7－2403
		成年男子	4	日高富雄	91	〃 大字岡富633－3	2－2560
		成年教員	4	伊東民義	97	〃 大字岡富517	7－2407
43	熊本	成年女子	4	海老原貞則	94	〃 大字岡富531	7－2397
		少年男子	4	伊東勤	93	〃 大字岡富581	7－2383
		少年女子	4	米良幸夫	95	〃 大字岡富497	2－2534
44	大分	成年教員	4	伊東勝文	98	〃 大字岡富500	7－2402
		成年男子	5	河野寿夫	106	〃 大字妻346－1	2－3698
		成年教員	5	徳永行男	101	〃 字平田1678	3－0657
45	宮崎	成年女子	5	児玉勝美	102	〃 大字三宅1193	3－4460
		少年男子	5	門川初枝	104	〃 妻町2—26	3－2031
		少年女子	5	三宅豊子	105	〃 大字妻1449－27	3－1811
46	鹿児島	成年教員	4	長友覚	99	〃 大字岡富493	7－2428
47	沖縄	成年教員	4	伊東重遠	100	〃 大字岡富476	7－2421
8	茨城	視察員	1	藤田食堂	131	〃 大字右松2484－3	3－0165
9	栃木	〃	19	〃	〃	〃	〃
10	群馬	〃	1	山田温泉	136	〃 大字山田4198－1	4－3741
14	神奈川	〃	7	藤田食堂	131	〃 大字右松2484－3	3－0165
25	滋賀	〃	15	山田温泉	136	〃 大字山田4198－1	4－3741
32	島根	〃	6	〃	〃	〃	〃
33	岡山	〃	1	〃	〃	〃	〃
		本部役員		旅館峡都	124	〃 大字妻238－4	3－0356
		役員		錦旅館	112	〃 大字南方264－3	3－1551
		〃		鎌田旅館	122	〃 大字妻593－1	3－1056
		〃		御陵の茶屋	132	〃 大字三宅4941	3－0788
		〃		あかのや	133	〃 大字右松1613－3	3－3330

大会本部宿舎一覧表

日体協・文部省宿舎

団体名	宿舎名	所在地	電話		
			市外局番	局番	番号
日体協	宮崎観光ホテル	宮崎市松山１－１－１	0985	27	1212
文部省	宮崎観光ホテル	宮崎市松山１－１－１	0985	27	1212

都道府県本部宿舎

都道府県名		宿舎名	所在地	電話		
				市外局番	局番	番号
1	北海道	ホテル神田橋	宮崎市橘通り東１－14－27	0985	25	5511
2	青森	〃	〃	〃	〃	〃
3	秋田	〃	〃	〃	〃	〃
4	岩手	〃	〃	〃	〃	〃
5	宮城	〃	〃	〃	〃	〃
6	山形	〃	〃	〃	〃	〃
7	福島	臨江亭	宮崎市松山１－12－26	0985	24	1150
8	茨城	〃	〃	〃	〃	〃
9	栃木	〃	〃	〃	〃	〃
10	群馬	江南荘	宮崎市淀川町１－２－９	0985	51	5101
11	埼玉	〃	〃	〃	〃	〃
12	千葉	〃	〃	〃	〃	〃
13	東京	〃	〃	〃	〃	〃
14	神奈川	〃	〃	〃	〃	〃
15	新潟	臨江亭	宮崎市松山１－12－26	0985	24	1150
16	富山	〃	〃	〃	〃	〃
17	石川	〃	〃	〃	〃	〃
18	福井	〃	〃	〃	〃	〃
19	山梨	〃	〃	〃	〃	〃

都道府県名		宿舎名	所在地	電話		
				市外局番	局番	番号
20	長野	臨江亭	宮崎市松山1－12－26	0985	24	1150
21	岐阜	ホテルフェニックス	宮崎市松山2－1－1	0985	23	6111
22	静岡	〃	〃	〃	〃	〃
23	愛知	〃	〃	〃	〃	〃
24	三重	〃	〃	〃	〃	〃
25	滋賀	〃	〃	〃	〃	〃
26	京都	〃	〃	〃	〃	〃
27	大阪	〃	〃	〃	〃	〃
28	兵庫	〃	〃	〃	〃	〃
29	奈良	宮崎グランドホテル	宮崎市松山2－2	0985	22	2121
30	和歌山	〃	〃	〃	〃	〃
31	鳥取	〃	〃	〃	〃	〃
32	島根	〃	〃	〃	〃	〃
33	岡山	橘ビジネスホテル	宮崎市橘通り東1－31	0985	27	6868
34	広島	臨江亭	宮崎市松山1－12－26	0985	24	1150
35	山口	橘ビジネスホテル	宮崎市橘通り東1－31	0985	27	6868
36	徳島	待月	宮崎市吾妻町38	0985	24	3618
37	香川	〃	〃	〃	〃	〃
38	愛媛	〃	〃	〃	〃	〃
39	高知	〃	〃	〃	〃	〃
40	福岡	ひまわり荘	宮崎市瀬頭2－4－5	0985	24	5285
41	佐賀	〃	〃	〃	〃	〃
42	長崎	〃	〃	〃	〃	〃
43	熊本	〃	〃	〃	〃	〃
44	大分	〃	〃	〃	〃	〃
45	宮崎	ホテル太陽	宮崎市川原町2－27	0985	25	8407
46	鹿児島	江南荘	宮崎市淀川町1－2－9	0985	51	5101
47	沖縄	ホテル太陽	宮崎市川原町2－27	0985	25	8407

（列車時刻表）

妻線下り

宮崎発	佐土原発	妻発	杉安着
6：56	7：15	7：34	7：44
8：42	9：00	9：21	9：31
13：48	14：09	14：29	14：39
16：21	16：46	17：06	17：16
17：45	18：06	18：26	18：35
20：49	21：06	21：26	21：36

妻線上り

杉安発	妻発	佐土原発	宮崎着
6：41	6：51	7：10	7：30
7：49	7：59	8：17	8：37
12：52	13：04	13：22	13：40
16：13	16：25	16：44	17：09
17：35	17：46	18：05	18：41
19：42	19：53	20：12	20：38

（国鉄バス）

妻線下り

宮崎駅発	妻駅発	杉安駅着
	7：15	7：29
	9：25	9：39
10：50	11：51	12：05
	14：30	14：44
15：10	16：06	16：20
16：45	17：41	17：55

妻線上り

杉安駅発	妻駅発	宮崎駅着
7：28	7：42	
8：31	8：45	9：41
9：16	9：30	
11：16	11：35	12：31
13：36	13：55	14：51
16：26	16：40	
18：36	18：50	

列車時刻表

日豊線（上り）大分・福岡方面

日豊本線（大分・小倉経由）									
		宮崎駅発		大分駅発		博多駅着			行先
L特急	にちりん4号	6	08	→ 9	31	→ 12	39		博多
急行	日南2号	6	17	→ 10	20	→ 12	37（小倉着）		小倉
L特急	にちりん6号	8	02	→ 11	32	→ 13	37（小倉着）		小倉
L特急	にちりん8号	9	00	→ 12	34	→ 15	38		博多
L特急	にちりん10号	11	00	→ 14	38	→ 17	39		博多
急行	日南6号	13	00	→ 17	08	→ 19	25（小倉着）		小倉
L特急	にちりん12号	14	08	→ 17	34	→ 20	39		博多
L特急	にちりん14号	14	47	→ 18	28	→ 20	28（小倉着）		小倉
L特急	にちりん16号	16	10	→ 19	39	→ 22	46		博多
急行	日南10号	23	05	→ 4	14	→ 7	06（小倉着）		門司港

日豊線（下り）熊本・長崎・福岡方面

		宮崎駅発	熊本駅着	佐世保着	博多駅着	行先
急行	えびの2号	8：27 →	13：10 →	鳥栖 14：30	弓限2号 14:51→15:01	博多
急行	えびの4号	13：46 →	18：55 止	～16：50		熊本
特急	おおよど	16：44 →	21：09 →	鳥栖 22：26	佐世保方面 連絡なし→22：50	博多
急行	えびの6号	18：17 →	22：59 止			熊本

日豊線（下り）鹿児島方面

		宮崎駅発	鹿児島着	西鹿児島着	行先
急行	錦江1号	8：14 →	10：38 →	10：43	山川
急行	錦江3号	12：01 →	14：36 →	14：41	西鹿児島
急行	錦江5号	14：42 →	16：57 →	18：04	〃
特急	富士	15：45 →	17：56 →	18：03	〃
L特急	にちりん5号	17：32 →	19：44 →	19：50	〃
L特急	にちりん7号	18：26 →	20：25 →	21：31	〃
急行	日南5号	20：33 →	22：50 →	22：56	〃

バス時刻表

西都・西都原・杉安峡線

宮交シティ―西都＜西都原／杉安峡

▲印は日祭運休
▲印は日祭学校休日運休

宮交シティ	デパート前	神宮駅	新名爪	広原	一里松	那珂	佐土原小学校前	瀬口	西都	穂北駅	杉安峡
0円	90	90	200	260	300	340	390	470	530	580	630
…	…	…	…	…	…	…	▲ 718	728	735	…	…
655	705	713	721	726	730	735	740	750	757	…	…
▲ 710	720	728	736	741	745	750	755	805	812	…	…
720	730	738	746	751	755	800	805	815	822	…	…
730	740	748	756	801	805	810	815	825	832	840	849
745	755	803	811	816	820	825	830	840	847	…	…
805	815	823	831	836	840	845	850	900	907	…	…
820	830	838	846	851	855	900	905	915	922	…	…
▲ 830	840	848	856	901	905	910	915	925	932	…	…
840	850	858	906	911	915	920	925	935	942	…	…
850	900	908	916	921	925	930	935	945	952	1000	1009
910	920	928	936	941	945	950	955	1000	1012	（西都原着1025）	
855	905	913	921	926	930	935	（船野岩崎経由）		1037	…	…
920	930	938	946	951	955	1000	1005	1015	1022	…	…
940	950	958	1006	1011	1015	1020	1025	1035	1042	…	…
1000	1010	1018	1026	1031	1035	1040	1045	1055	1102	…	…
1025	1035	1043	1051	1056	1100	1105	1110	1120	1127	（西都原着1140）	
1050	1100	1108	1116	1121	1125	1130	1135	1145	1152	…	…
1105	1115	1123	1131	1136	1140	1145	1150	1200	1207	…	…
1120	1130	1138	1146	1151	1155	1200	1205	1215	1222	…	…
1130	1140	1148	1156	1201	1205	1210	1215	1225	1232	…	…
▲ 1140	1150	1158	1206	1211	1215	1220	1225	1235	1242	…	…
1200	1210	1218	1226	1231	1235	1240	1245	1255	1302	…	…
1210	1220	1228	1236	1241	1245	1250	（船野岩崎経由）		1252	…	…
1215	1225	1233	1241	1246	1250	1255	1300	1310	1317	…	…
1240	1250	1258	1306	1311	1315	1320	1325	1335	1342	…	…
1305	1315	1323	1331	1336	1340	1345	1350	1400	1407	…	…
1325	1335	1343	1351	1356	1400	1405	1410	1420	1427	…	…
1340	1350	1358	1406	1411	1415	1420	1425	1435	1442	1450	1459
▲ 1400	1410	1418	1426	1431	1435	1440	1445	1455	1502	…	…
1415	1425	1433	1441	1446	1450	1455	1500	1510	1517	…	…
1435	1445	1453	1501	1506	1510	1515	1520	1530	1537	…	…
1505	1515	1523	1531	1536	1540	1545	1550	1600	1607	…	…
1525	1535	1543	1551	1556	1600	1605	1610	1620	1627	…	…
1545	1555	1603	1611	1616	1620	1625	1630	1640	1647	…	…
1600	1610	1618	1626	1631	1635	1640	1645	1655	1702	…	…
1605	1615	1623	1631	1636	1640	1645	（船野岩崎経由）		1747	…	…
1615	1625	1633	1641	1646	1650	1655	1700	1710	1717	…	…
1630	1640	1648	1656	1701	1705	1710	1715	1725	1732	…	…
1645	1655	1703	1711	1716	1720	1725	1730	1740	1747	…	…
1700	1710	1718	1726	1731	1735	1740	1745	1755	1802	…	…
1710	1720	1728	1736	1741	1745	1750	1755	1805	1812	…	…
▲ 1715	1725	1733	1741	1746	1750	1755	（新田経由）		1827	…	…
1725	1735	1743	1751	1756	1800	1805	1810	1820	1827	…	…
1730	1740	1748	1756	1801	1805	1810	（船野岩崎経由）		1912	…	…
1735	1745	1753	1801	1806	1810	1815	1820	1830	1837	…	…
1755	1805	1813	1821	1826	1830	1835	1840	1850	1857	…	…
1815	1825	1833	1841	1846	1850	1855	1900	1910	1917	…	…
1835	1845	1853	1901	1906	1910	1915	1920	1930	1937	…	…
1850	1900	1908	1916	1921	1925	1930	1935	1945	1952	…	…
1910	1920	1928	1936	1941	1945	1950	1955	2005	2012	…	…
1940	1950	1958	2006	2011	2015	2020	2025	2035	2042	…	…
2005	2015	2023	2031	2036	2040	2045	2050	2100	2107	…	…
2025	2035	2043	2051	2056	2100	2105	2110	2120	2127	…	…
2050	2100	2108	2116	2121	2125	2130	2135	2145	2152	…	…
2110	2120	2128	2136	2141	2145	2150	2155	2205	2212	…	…

バス時刻表

宮崎線

西都原・杉安峡 > 西　都—宮交シティ　　▲印は日祭運休

杉安峡	穂北駅	西　都	瀬　口	佐土原小前	那　珂	一里松	広　原	新名爪	神宮駅	デパート前	宮交シティ
150円	100	0	100	190	240	310	320	370	440	510	530
…	…	620	627	636	641	644	647	651	659	707	715
…	…	630	637	647	652	657	701	706	714	722	730
…	…	645	652	702	707	712	716	721	729	737	745
…	新田経由	▲ 655	702	—	727	732	736	741	749	757	805
…	急　行	700	—	714	718	—	726	730	736	744	751
…	…	710	717	727	732	737	741	746	754	802	810
…	…	…	…	(堂山より)	740	745	749	754	802	810	818
…	…	720	727	737	742	747	751	756	804	812	820
…	…	740	747	757	802	807	811	816	824	832	840
…	…	800	807	817	822	827	831	836	844	852	900
…	…	810	817	827	832	837	841	846	854	902	910
…	…	▲ 830	837	847	852	857	901	906	914	922	930
…	…	850	857	907	912	917	921	926	934	942	950
…	…	900	(岩崎船野経由)		1002	1007	1011	1016	1024	1032	1040
…	…	910	917	927	932	937	941	946	954	1002	1010
910	919	930	937	947	952	957	1001	1006	1014	1022	1030
…	…	950	957	1007	1012	1017	1021	1026	1034	1042	1050
…	…	▲1005	1012	1022	1027	1032	1036	1041	1049	1057	1105
…	…	1015	1022	1032	1037	1042	1046	1051	1059	1107	1115
1018	1027	1035	1042	1052	1057	1102	1106	1111	1119	1127	1135
…	…	1050	1057	1107	1112	1117	1121	1126	1134	1142	1150
…	…	1110	1117	1127	1132	1137	1141	1146	1154	1202	1210
…	…	1120	1127	1137	1142	1147	1151	1156	1204	1212	1220
…	…	1135	1142	1152	1157	1202	1206	1211	1219	1227	1235
…	…	1200	1207	1217	1222	1227	1231	1236	1244	1252	1300
…	…	1225	1232	1242	1247	1252	1256	1301	1309	1317	1325
…	…	▲1240	1247	1257	1302	1307	1311	1316	1324	1332	1340
…	…	1255	1302	1312	1317	1322	1326	1331	1339	1347	1355
…	…	1310	1317	1327	1332	1337	1341	1346	1354	1402	1410
…	…	1325	1332	1342	1347	1352	1356	1401	1409	1417	1425
…	…	1340	1347	1357	1402	1407	1411	1416	1424	1432	1440
…	…	1400	1407	1417	1422	1427	1431	1436	1444	1452	1500
…	…	1420	1427	1437	1442	1447	1451	1456	1504	1512	1520
…	…	1440	1447	1457	1502	1507	1511	1516	1524	1532	1540
…	…	1450	1457	1507	1512	1517	1521	1526	1534	1542	1550
…	…	1510	1517	1527	1532	1537	1541	1546	1554	1602	1610
…	…	1525	(岩崎船野経由)		1627	1632	1636	1641	1649	1657	1705
1510	1519	1530	1537	1547	1552	1557	1601	1606	1614	1622	1630
…	…	▲1540	1547	1557	1602	1607	1611	1616	1624	1632	1640
…	…	1550	1557	1607	1612	1617	1621	1626	1634	1642	1650
…	…	1600	1607	1617	1622	1627	1631	1636	1644	1652	1700
…	…	1620	1627	1637	1642	1647	1651	1656	1704	1712	1720
…	…	1640	1647	1657	1702	1707	1711	1716	1724	1732	1740
…	…	1700	1707	1717	1722	1727	1731	1736	1744	1752	1800
…	…	1710	1717	1727	1732	1737	1741	1746	1754	1802	1810
…	…	1720	1727	1737	1742	1747	1751	1756	1804	1812	1820
…	…	1735	1742	1752	1757	1802	1806	1811	1819	1827	1835
…	…	1755	1802	1812	1817	1822	1826	1831	1839	1847	1855
…	…	1815	1822	1832	1837	1842	1846	1851	1859	1907	1915
1813	1822	1830	1837	1847	1852	1857	1901	1906	1914	1922	1930
…	…	1855	1902	1912	1917	1922	1926	1931	1939	1947	1955
…	…	1910	1917	1927	1932	1937	1941	1946	1954	2002	2010
…	…	1930	1937	1947	1952	1957	2001	2006	2014	2022	2030
…	…	1945	1952	2002	2007	2012	2016	2021	2029	2037	2045
…	…	2000	2007	2017	2022	2027	2031	2036	2044	2052	2100
…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

循環バス時刻表

（S54. 10.13～10.18）

四日市線（9.9km　33分）

体育館(発)	栗野	三日市	赤池	四日市	栗野	妻駅	体育館(着)
▲ 8：30	8：40	8：42	8：44	8：48	8：55	8：58	9：03
10：00	10：10	10：12	10：14	10：18	10：25	10：28	10：33
11：30	11：40	11：42	11：44	11：48	11：55	11：58	12：03
13：00	13：10	13：12	13：14	13：18	13：25	13：28	13：33
14：30	14：40	14：42	14：44	14：48	14：55	14：58	15：03
16：00	16：10	16：12	16：14	16：18	16：25	16：28	16：33

清水線（7.8km　26分）

体育館(発)	清水	上尾筋	国分	体育館	妻駅	体育館(着)
▲ 8：30	8：36	8：40	8：42	8：45	8：51	8：56
10：00	10：06	10：10	10：12	10：15	10：21	10：26
11：30	11：36	11：40	11 ·42	11：45	11：51	11：56
13：00	13：06	13：10	13：12	13：15	13：21	13：26
14：30	14：36	14：40	14：42	14：45	14：51	14：56
16：00	16：06	16：10	16：12	16：15	16：21	16：26

市内線（9.7km　29分）

妻駅(発)	体育館	妻高入口	西都原	野球場	体育館	妻高入口	北小	水流崎	妻駅(着)
▲ 8：00	8：04	8：06	8：09	8：14	8：18	8：20	8：23	8：26	8：29
9：30	9：34	9：36	9：39	9：44	9：48	9：50	9：53	9：56	9：59
11：00	11：04	11：06	11：09	11：14	11：18	11：20	11：23	11：26	11：29
12：30	12：34	12：36	12：39	12：44	12：48	12：50	12：53	12：56	12：59
14：00	14：04	14：06	14：09	14：14	14：18	14：20	14：23	14：26	14：29
15：30	15：34	15：36	15：39	15：44	15：48	15：50	15：53	15：56	15：59

（13日は運休）

杉安線（19.4km　52分）

妻駅(発)	北小	石貫	島内	椿原	杉安	山島津	杉安	椿原
▲ 8：00	8：03	8：06	8：10	8：12	8：17	8：18	8：19	8：24
9：30	9：33	9：36	9：40	9：42	9：47	9：48	9：49	9：54
11：00	11：03	11：06	11：10	11：12	11：17	11：18	11：19	11：24
12：30	12：33	12：36	12：40	12：42	12：47	12：48	12：49	12：54
14：00	14：03	14：06	14：10	14：12	14：17	14：18	14：19	14：24
15：30	15：33	15：36	15：40	15：42	15：47	15：48	15：49	15：54

島内	石貫	北小	体育館	野球場	西都原	妻高入口	妻駅(着)
8：26	8：30	8：33	8：36	8：40	8：45	8：48	8：52
9：56	10：00	10：03	10：06	10：10	10：15	10：18	10：22
11：26	11：30	11：33	11：36	11：40	11：45	11：48	11：52
12：56	13：00	13：03	13：06	13：10	13：15	13：18	13：22
14：26	14：30	14：33	14：36	14：40	14：45	14：48	14：52
15：56	16：00	16：03	16：06	16：10	16：15	16：18	16：22

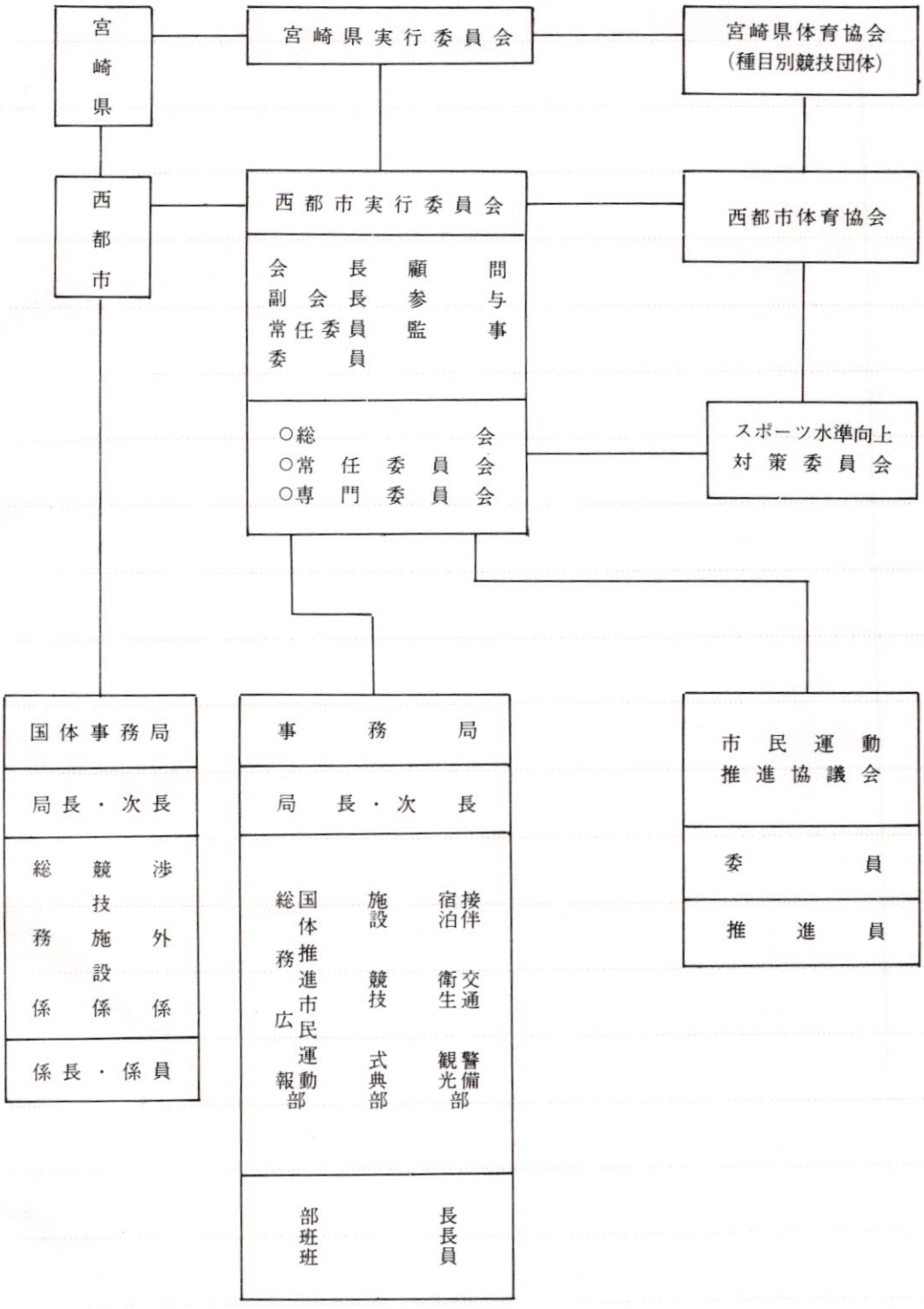
※14日は全線運休、15日・16日・17日の▲印は運休

国体関係電話番号一覧表

名　　称	所　　在　　地	電　話　番　号
県国体実施本部	県国体事務局内	0985-24-1111
県記録本部	〃	0985-26-5546
実施本部	西都市役所内	3－2277 3－1111
宿泊本部	〃	3－2278 3－2279
現地本部(高校野球会場)	球場本部席	3－2266
〃　　〃	管理事務所	3－2276
〃　(バドミントン会場)	体育館事務室	3－2267
〃　　〃	体育館ステージ	3－2268
練習会場	妻中学校体育館	3－1942
〃	妻高等学校体育館	3－1943
〃	西都商業高等学校体育館	3－1944
〃	妻北小学校体育館	3－1945
案内所(バドミントン会場)	体育館案内所（テント内）	3－2273 3－2274
〃　　〃	〃　　〃	3－1938 3－1939 (公衆)
輸送案内所	体育館南	3－2275
案内所(高校野球会場)	球場案内所（テント内）	3－2271 3－2272
〃　　〃	〃	3－1940 3－1941 (公衆)
駅前案内所	妻駅前（テント内）	3－2269 3－2270
錦旅館	西都市大字南方264－3	3－1946
山茶屋	〃　　〃　108	3－1947
みずしま	〃　　〃　226－3	3－1948
沼口旅館	〃　大字妻789－1	3－1949 3－1950
第二小畑	〃　　〃　230	3－1951
山田温泉	〃　大字山田4198－1	3－1950
清水地区民泊連絡所	清水公民館	3－2280
右松　〃	右松　〃	3－2281

名　　称	所　　在　　地	電　話　番　号
赤　池地区民泊連絡所	赤　池公民館	3－2282
四日市　〃	四日市　〃	3－2283
三　宅　〃	宝　足　〃	3－2284
法　元　〃	法　元　〃	3－2285
妻　　駅		3－0846
杉　安　　駅		3－0847
国鉄自動車妻営業所		3－0845
宮崎交通西都営業所		3－0026
宮崎交通タクシー		3－0028
西都タクシー		3－1222
日の丸タクシー		3－0021
西都警察署		3－1355
西都保健所		3－1330

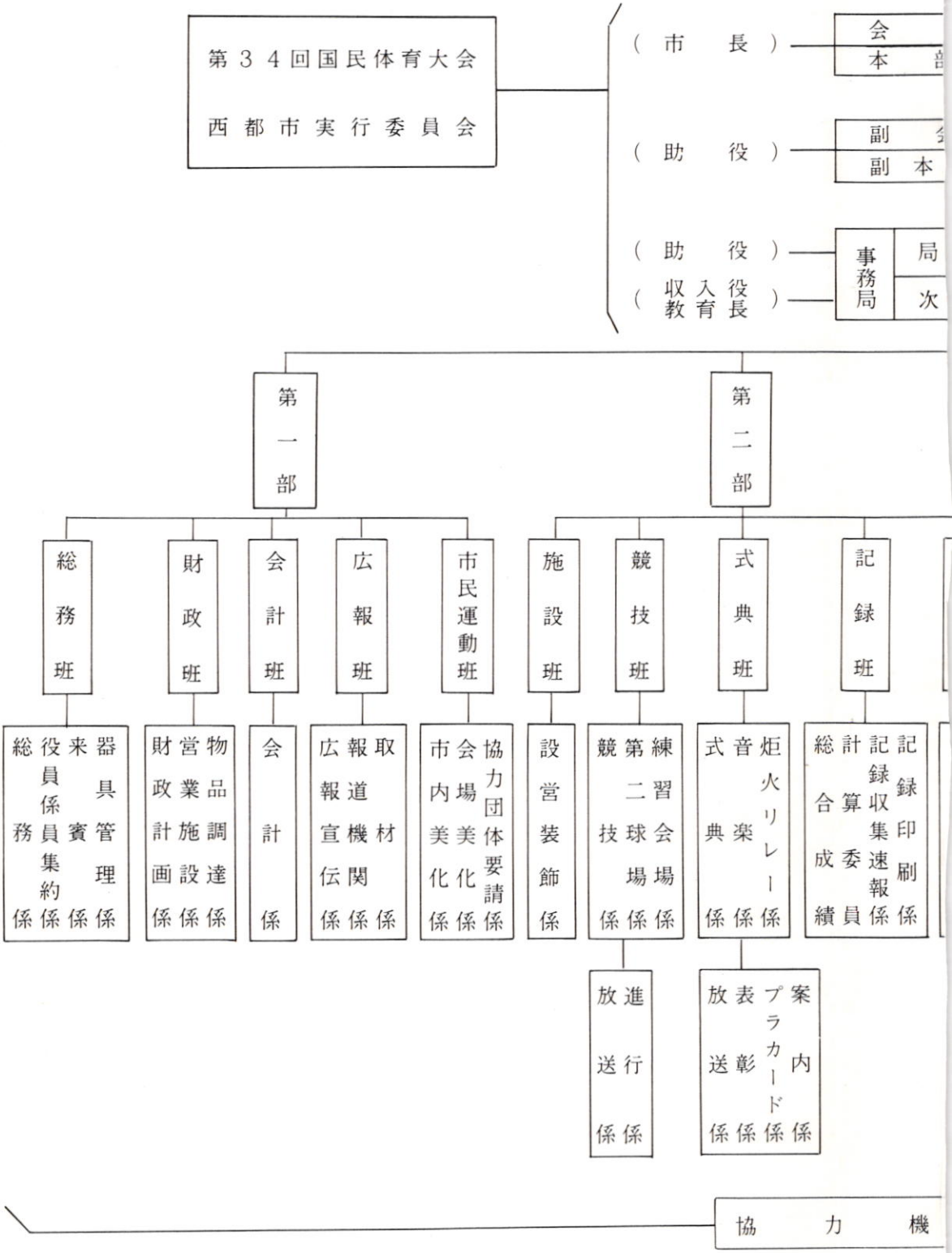
第34回国民体育大会　西都市実行委員会機構図



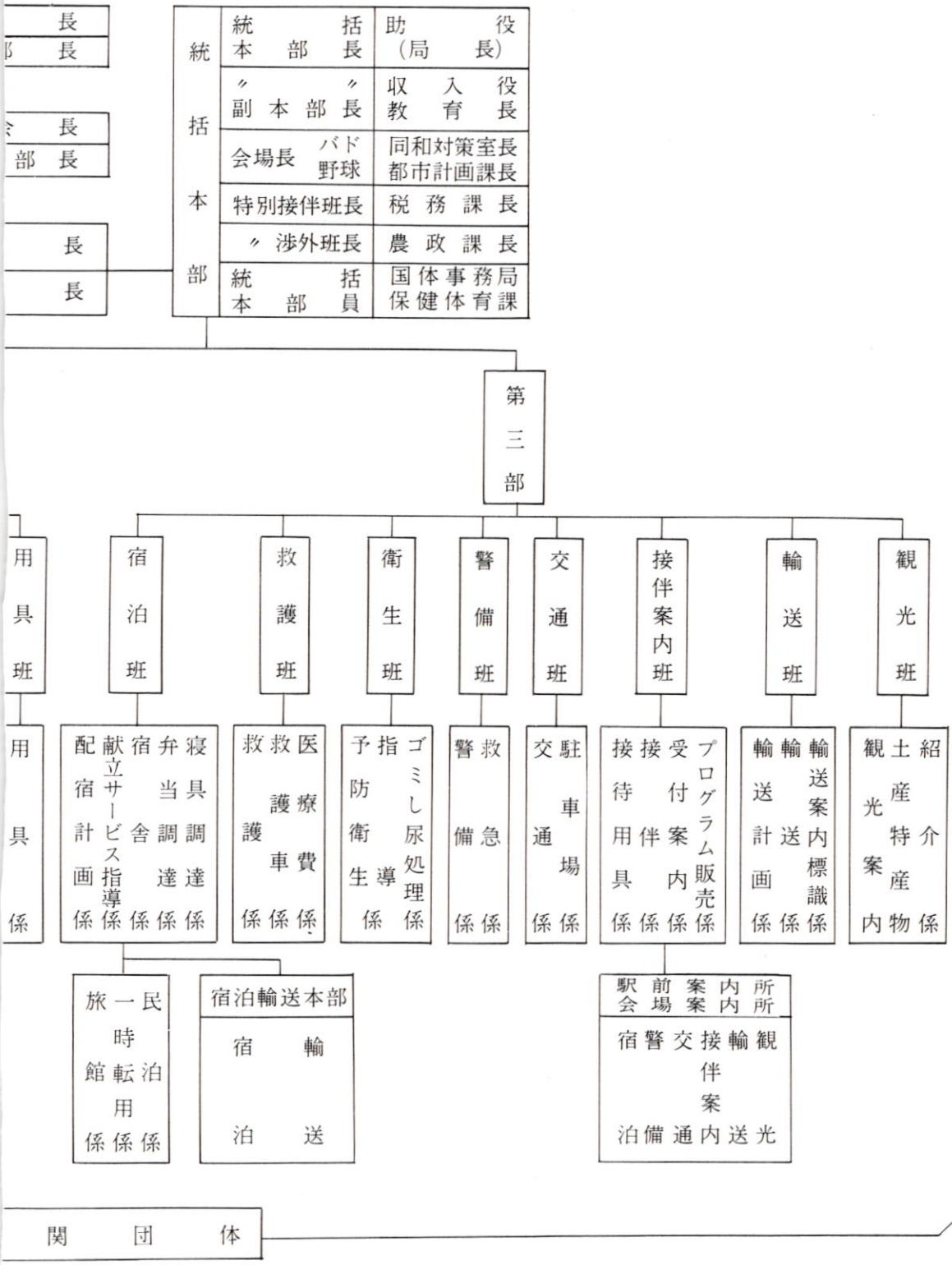
MEMO



第３４回国民体育大会


第３４回国民体育大会
西都市実行委員会
（市長）
会
本部
（助役）
副会
副本
（助役）
（収入役
教育長）
事務局
局
次
第一部
第二部
総務班
財政班
会計班
広報班
市民運動班
施設班
競技班
式典班
記録班
器具管理係
来賓係
役員係員集約係
総務係
物品調達係
営業施設係
財政計画係
会計係
取材係
報道機関係
広報宣伝係
協力団体要請係
会場美化係
市内美化係
設営装飾係
練習会場係
第二球場係
競技係
炬火リレー係
音楽係
式典係
記録印刷係
記録収集速報係
計算委員
総合成績
進行係
放送係
案内係
プラカード係
表彰係
放送係
協力機

西都市実施本部組織機構



MEMO

祝　全国の選手の皆さまの
ご健闘をお祈り致します

ゆとりある暮らしを願って。

地元銀行として地域の皆さまのゆとりある暮らしを願ってマイホームづくり、教育、結婚、旅行、老後の生活安定などの資金づくりやご用立に役立つよう幅広い情報の提供につとめています。

いつも身近かに

宮崎銀行

C.M. BRANDO

水鳥シャトルコックのパイオニア

日本バドミントン協会検定合格球

全国選手権大会使用球　C. Mシャイン（打）3,900円

器具はその用途に重要な役割を成し
良品が素晴しい技や記録を生みだす！

C、Mがスチールシャフトラケットや、水鳥シャトルコックを開拓して既に20余年、特にシャトルコックの重要さの責任を痛感し懸命に研究を続けております。

消耗の激しい用具は経済だけでなく
パワーや技を小形化します。



抜群の耐久力と、一度使ったら
忘れられない独得の味、そして値段は何処よりも安い。

株式会社 C.M.

〒350-04　埼玉県入間郡越生町越生672-27
電話049292-4855（代表）



オールカーボンシャフトとウッドフレームによる

世界初の超軽量

XL級 105g～109g

コンピュータとキャリアが生み出した
100%カーボン・ロングテーパーシャフト
軽さと強さをかねそなえた
スーパーラケットの登場！

Carbon Slugfest

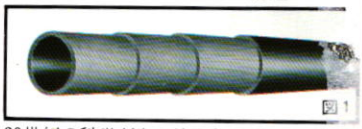
カーボンスラッグフェスト　B-85・B-80

日本バドミントン協会推奨

■プレーヤー待望のパーフェクトラケット

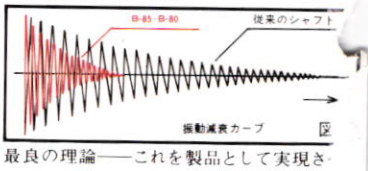
より高度に、そして多彩になっていくバドミントンのプレーテクニック。そのすべてのプレーに一本のラケットがパーフェクトに対応します。ゴーセンが開発した100%カーボン・ロングテーパーシャフト『カーボン・スラッグフェスト B-85・B-80』。プレーヤーの強い要望に応えた理想のラケットの登場です。

■電子頭脳が答えた理想の構造


図1

20世紀の科学が生んだ最高のラケット素材《カーボン》。このカーボン繊維を、ラケットの生命といわれるシャフト部分に使用。この素材特性をいちばん効果的に発揮させるため、図1のように方向の異なる繊維を3層に組み合わせました。この構造図式は、理想のラケットを創り出すという前提のもとに、コンピュータがはじき出した答えです。

さらにもう一歩理想に近ずくため、この構造によるシャフトのロングテーパー化をコンピュータは指示しました。



図

最良の理論——これを製品として実現させたのはゴーセンの技術力。カーボン究極の[illegible]を安定して確保し、世界でも類を見ない100%カーボン・ロングテーパーシャフト化にも成しました。

■カーボン・ラケットの決定版

細部にわたる測定テスト。このB-85・B-80はすべての点で他のカーボン・ラケットをしのぎました。カーボンの特性をこれほど完璧に生かしきったラケットは見当りません。



■B-85・B-80の特徴

- 軽量(スピードあふれた[illegible]
- 高反発／高弾性（鋭い打球）
- 高強度(優れた耐久性)
- 迅速な振動減衰性（打球後のラケットの安定。図②参照）
- 高応答性(打球の手応え)まさに長所総づかみカーボン・ラケットの決定版！堂々と登場です。

カーボンスラッグフェスト
B-85(黒)・B-80(白) ¥7,500

- バンブー・ウッド合板
- 100%カーボン・ロングテーパーシャフト
- カバー付



GOSEN

本　社●〒540 大阪市東区豊後町4 ☎(06)942-5816(代)
東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2 ☎(03)862-6576(代)
福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8 ☎(092)712-5247(代)
北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22 ☎(0762)47-0200(代)

祝　歓　迎

第３４回国民体育大会バドミントン競技

'手造り焼酎'



1800㍉詰

めぐまれた環境に育つ名酒正春の逸品



本格焼酎　720㎖
おりべ徳利 35%

日本のふるさと　**西都原**

老　　酒　**西　都**

ＴＥＬ09834　（5）－１０１３



本格焼酎720㎖
化粧瓶　40%

羨望のラケット

All Carbon Graphite Tapered Shaft



S-81 カーボデラックス 6

従来のストレートシャフトと異なり、テーパーシャフトのため、シャフトの「シナリ」が大きくなり、より一層の反撥力が増し、アタックにレシーブに驚く程のカーボンシャフトの特性が生かされております。

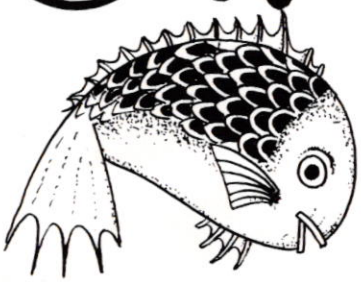
SunBatta

祝

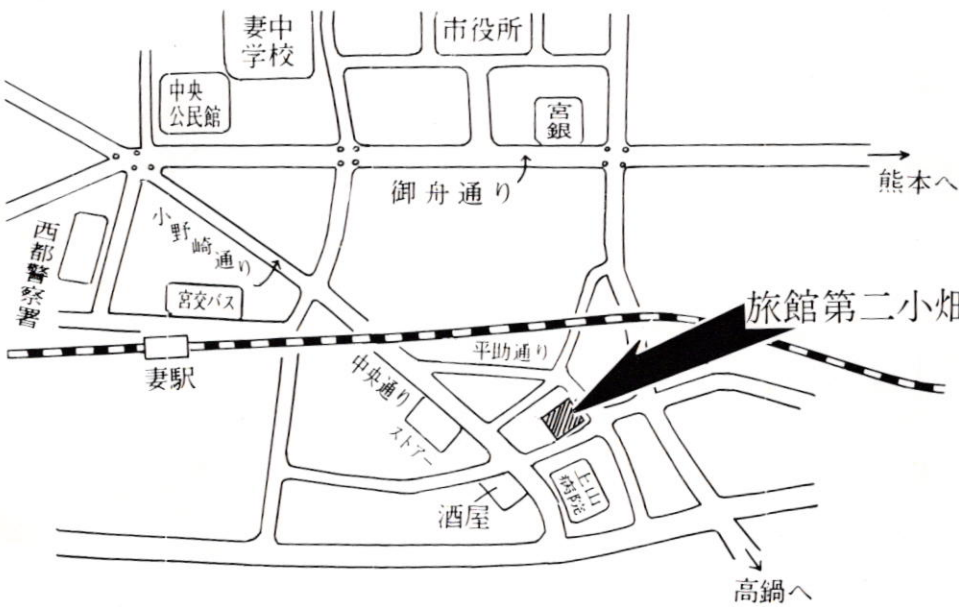
参加選手の皆様ようこそ！
ご健闘をお祈り申し上げます

旅館

㊀第二小畑



西都市妻町
ＴＥＬ（09834）３－００３６



カーボンのヒーロー。時代のラケット。

また、ヨネックスならではのクリエイティブなラケットが誕生しました。世界で最軽量。なんと、100g以下のフルカーボンシャフトラケット、カーボネックス8です。フレームは特殊合金アルミ、シャフトはフルカーボン。強烈なパワーを秘めながらこの軽さは、まさに世界新。バドミントンプレイが二歩も三歩も前進します。このヒーローの登場で。

ラケット重量極限の壁を遂に破ったFULL CARBON SHAFT RACKET

B-8500 Carbonex8

カーボネックス・エイト（特殊アルミ合金フレーム・フルカーボンシャフト）

（イエロー・オレンジ・クリーン）・重量表示・1-U（100g～95g）・2-U（95g～90g）

YONEX

祝 第34回国民体育大会バドミントン競技
選手の皆さんのご健闘をお祈りします

世界でも指折りの
スポーツウェアスペシャリスト

九州デサント 株式会社

〒881—01 宮崎県西都市大字藤田1111 TEL (09834) 4—5241 4—5242

DESCENTE

取締役社長 石本 他家男 取締役工場長 横山 勝

丸善衣料株式会社

〒543 大阪市天王寺区堂ケ芝町193
TEL 06(773) 0251 代表

西都クロージング株式会社

代表取締役 小広 三男
〒881 宮崎県西都市大字清水758
TEL09834(2)3800代表

D·URBAN 紳士服 縫製技術を誇るダーバン紳士服製造工場

東洋ソーイング株式会社

宮崎県西都市大字鹿野田2662
電話 2—2255
代表取締役 東 正敏

■ユニークなオーダーシステムで高級品を安く提供!!
★高度な縫製技術
★豊富な素材
★斬新なデザイン

宮崎県西都市大字都於郡町5610
電話 ④5104
代表取締役 東 正敏

ユニック

オーダーメード 紳士服



その一瞬(きわみ)
打球感の極。

純白のシャトルコックと黒のエイトシックス。
一瞬……クラッシュ!
パワー、コントロール性。その優秀さは、
打球感の違いが証す。



世界初のオールグラファイトラケット
エイトシックス

グラファイトフレーム・グラファイトシャフト
黒(ケース付)

グラファイトシリーズ



宇宙の美学から生まれたラケット

kawasaki
河崎ラケット工業株式会社